## カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

					Ľ	和3年) <sub>分類</sub>	度 商業実務専門課程 (ホテル	・ブライダル学科) 	Ι	ı	1	授業方法	
<del>-</del>							155	授		774		.人水 <b>八</b> 瓜	 実 験
専 門 ・		年次	学期	科目区	必	選択必修	授 業 利 計 目 目 目 目 目 目 目 目 目 目 目 目 目 目 目 目 目 目		授 業 時	単   位	講	演	· 実 習
般			***	分	修	必   選   援   修   拼	名名	世 概 世 要	数	数	義	習	· 実 技
専門	ホテルマンとして必要な知識と技術を習得する	1	前期	専門	0		ホテル概論 I A	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的 とする	30	2	0		
		1	後期	専門	0		ホテル概論 I B	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解すること を目的とする	30	2	0		
		2	前期	専門	0		ホテル概論ⅡA	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解すること を目的とする	30	2	0		
		1	前期	専門	0		FB実務IA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	30	1		0	
		1	後期	専門	0		FB実務IB	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービ ス方法、実務を学びます	30	1		0	
		2	前期	専門	0		FB実務ⅡA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービ ス方法、実務を学びます	30	1		0	
		1	前期	専門	0		ブライダル総論 I A	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目 的とする	30	2	0		
		1	後期	専門	0		ブライダル総論 I B	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目 的とする	30	2	0		
		2	前期	専門	0		ブライダル総論 II A	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目 的とする	30	2	0		
	インベウンド対応のできる 英語力を習得する	1	前期	専門	0		ホテル実用英語IA	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		0	
		1	後期	専門	0		ホテル実用英語 I B	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		0	
		1	前期	専門	0		TOEIC L&RIA	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニング力の向上	60	2		0	
		1	前期	専門	0		TOEIC S&WIA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目 的とする	60	2		0	
		1	後期	専門	0		TOEIC L&RIB	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニング力の向上	60	2		0	
		1	後期	専門	0		TOEIC S&WIB	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目 的とする	60	2		0	
		2	前期	専門	0		TOEIC L&RIA	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニングカの向上	60	2		0	
		2	前期	専門	0		TOEIC S&WIA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目 的とする	60	2		0	
	サービス業に求められる 知識と技能を習得する	1	前期	専門	0		サービス接遇IA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		0	
		1	後期	専門	0		サービス接遇 I B	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		0	
		2	前期	専門	0		サービス接遇 II A	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		0	
		2	前期	専門	0		フラワーアレンジメントⅡA	婚礼で必要な知識としてブライダルブーケの基本的テクニックを習得する	30	1		0	
		1	前期	専門	0		ブライダルビューティIA	婚礼で必要な知識としてブライダルヘアーの基本的知識を習得する	30	1		0	
		1	後期	専門	0		ブライダルビューティ I B	婚礼で必要な知識としてブライダルメイクの基本的知識を習得する	30	1		0	
		1	後期	専門	0		ICT活用 I B	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、 プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次 世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		0	
		2	前期	専門	0		ICT活用 II A	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、 プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次 世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		0	
		1	前期	専門	0		ICT演習 I A	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。 日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		0	
		1	後期	専門	0		ICT演習 I B	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。 日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		0	
		1	前期	専門	0		異文化コミュニケーションIA	インバウンド対応に必要なコミュニケーション能力の向上と異文化の理解を 目的とする	30	1		0	
		1	後期	専門	0		ホテルブライダルマーケティング I B	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		0	
		2	前期	専門	0		ホテルブライダルマーケティング Ⅱ A	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		0	
		1	前期	専門	0		富山学IA	富山県の観光を学ぶことを目的とする	30	1		0	
		1	前期	専門	0		色彩 I A	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		0	
		1	後期	専門	0		色彩 I B	色がもたらす影響やカ、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		0	
		1	前期	専門	0		ウエディングスビューティフル I A	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	30	1		0	
		1	後期	専門	0		ウエディングスビューティフル I B	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	30	1		0	
		1	前期	一般		C	NIBIA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼンカ、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		0	
		2	前期	一般		C	NIBIA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼンカ、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		0	
		1	前期	一般		C	表現力IA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		0	
		2	前期	一般		C	表現力ⅡA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		0	
		1	後期	一般	0		キャリ支援IA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、 キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	0		
		2	前期	一般	0		キャリア職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、 キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	0		

	2	後期	専門		0	インターンシップ(国内) II B	授業で学んだホテル する	・ブライダルの知識を現場で	寒践躬行することを目的と	450	10		0
見場力・実践力を身に付ける	2	後期	専門		0	インターンシップ(海外) IIB	海外にて実践的な英 ぶことを目的とする	語の活用とマーケティング、	イノベーションについて学	450	10		0
	2	前期	一般	0		データマーケティング Ⅱ A	POSデータやドルフィ らの課題解決方法に		Eかし、マーケティング観点か	30	1	0	
	1	後期	一般	0		データマーケティング I B	理解を促し、マーケー	本的な理論や手法を学び、マー ティングを進める上で必要なデ 習によって身につけ、データマ	一タ の取り扱いに関する知	30	1	0	
	1	前期	一般	0		データマーケティング I A	理解を促し、マーケー	本的な理論や手法を学び、マー ティングを進める上で必要なデ 習によって身につけ、データマ	一タ の取り扱いに関する知	30	1	0	

卒業要件及び履修方法	授業	期間等	
卒業要件: 64単位取得 GPA2.0以上	1 学年の学期区分	2	期
必修科目を取得していること (H),(B)どちらかの選択必修科目を全て取得していること	1 学期の授業期間	15	週

## (留意事項)

<sup>1</sup> 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

	/\\ / \/\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	ノイメル 士件		2十标性	•		'	+
科目	名 ホテル概論 I A					学期	前	期
担当		科目区分	授業方法 講義	覆修分类		単位数		2
学習	目的 宿泊産業の中のホテル 成内容(部門別)、専						頁、社会的	內役割、構
授業	内容 ホテル産業の基礎的知	口識を学習する						
学習	目標 今後さらにグローバル	レ化する地域、社	t会におけるホテル産	業の重要	性とホテ	・ルの宿泊、料館	次、宴会、	調理各部門
使用テ	キストホテルビジネス基礎線			_				
週数		授業計画			T	事前・事後の学	習	
1	第1章 ホテルの基礎 □ホテル。	とは		【事前】	ホテル産	業について予習		
				【事後】	ホテル調	査 		
2	第1章 ホテルの基礎□欧米の原	<b></b>		【事前】	欧米のホ	テルの歴史につい	ハて	
				【事後】	ホテル調	査のレポート提出	<u> </u>	
3	第1章 ホテルの基礎 □日本の	発展中		【事前】	日本のホ	テル発展史		
	70.04 TV 70.00 ± 70.00			【事後】	課題提出			
4	第1章 ホテルの基礎 部門別機	総口サラルの組織	サービスの基本	【事前】	サービス	の基本		
7	光1年 ハブルの金炭 即 1別版	8日と 口が、アプレック小丘中央	、ケービスの金布	【事後】	検定試験	問題集による小	テスト	
_	第1章 ホテルの基礎 部門別機	<b>給□+ニ</b> Ⅱ <b>の</b> 組織	887年2十七日	【事前】	ホテルの	組織について		
5	男1草 小ナルの基礎 部门別協	ξ月已 ΔIN ブ / レ ∪ ノ 市 L 市以	、闰连広况	【事後】	ホテル調	 査		
	<b>然1</b>	3 人 <b>公 公</b> 田 田		【事前】	トレンド	調査		
6	第1章 ホテルの基礎 将来展望	『 学俊の誄越 山	レント調宜	【事後】	課題提出			
	ALCO 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1			【事前】	プロトコ	ール		
7	第1章 ホテルの基礎 [国際儀名	礼の基本		【事後】	課題提出			
				【事前】	ホテル調	 査		
8	第1章 ホテルの基礎 □ホスピ☆	タリティマインド		【事後】	レポート			
				【事前】	第 1 章ホ	テルの基礎 まと	め	
9	第1章 ホテルの基礎 □ホテル 	関連知識		【事後】	検定試験	問題集による小	テスト	
				【事前】	宿泊部門	の概要		
10	第2章 宿泊部門の業務口宿泊部	3門の概要		【事後】	課題提出			
				事前】	宿泊部門	 の特性		
11	第2章 宿泊部門の業務 [宿泊]	商品の特性		【事後】	課題提出			
				【事前】	ホテル調	 査		
12	第2章 宿泊部門の業務 口組織	と業務役割		【事後】	レポート			
				+	宿泊商品			
13	第2章 宿泊部門の業務 口宿泊店	商品の基本知識				問題集による小売	<u> </u>	
				1		 	1	
14	第2章 宿泊部門の業務 [担当	者業務					= ¬ L	
				+			/ ^ ٢	
15	第2章 宿泊部門の業務 📭 と	ø				書のまとめ 		
	評価項目/割合	1		【争後】     評価	前期期末   内容	.武.缺 		
	1. 課 題 30 %	ホテル業界の理解、	ホテルの基礎の習得、ホテル	に関する調	査レポート・	・授業の課題提出		
評   価	2. 授業姿勢 30 %	集中力、社会人予備	軍としてのマナー、態度を重	i視一私語、.	居眠り、姿勢	<b>勢(たとえば見えな</b> し	と思って靴	を脱いだり、脚
基準	3. テストその1 40 %	筆記文によるテスト	は読む人にわかり易く、誤字	₽脱字がない	ように読み返	区す気配りがある学生	Ē	
日信	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ	120%以上とし、授業姿勢(	は30%とする。					
検定・ 課外	校外実地見学・研修等を経験(見る	・聞く・行 <b>う</b> )するこ	とによって、ホテルサービス	くに関する初	歩的業務機能	能を実践的に学ぶこと	こが可能。	
授業 実施 予定•	そのことを踏まえてホテルコースは 企業連携を通して、企画提案や商品	2年次に実施予定の「	ホテルビジネス検定試験:^					
1 10	正未建協を通じて、正画成未で向配	囲光などの天成で1]。	<b>7</b> 。					

								-			
科目	名 ホテル概論 I B					学期	後	期			
担当教	数員 髙野 直人	科目区分専門	授業方法 講義	<b>覆修分</b> 類	必修	単位数		2			
学習目	目的 ホテル産業の基礎的知	識を学習する		•							
授業内	内容 内容 内容(部門別)、専						領、社会的	9役割、	構		
学習目	目標 ホテルに関する基礎知	識を習得し、	「ホテルビジネス	く実務検定べー	シック 2	級」に合格する	3				
使用テ	キストホテルビジネス基礎編	i									
週数		授業計画			1	事前・事後の学	習				
1	第3章 料飲部門の業務口料飲部	門の特性		【事前】	料飲部門	の特性					
				【事後】	課題提出						
2	第3章 料飲部門の業務口料飲部	門の組織		【事前】	ホテル・	旅館調査					
	310-1- 1130-11-10-310-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-	1 100 12100		【事後】	レポート	提出					
3	第3章 料飲部門の業務口料飲部	明の業務処割		【事前】	料飲部門	の基本知識					
3	30年 行队时 107米切 <b>占</b> 行队时	1 100米仍仅可		【事後】	検定試験	問題集による小	テスト				
4	第3章 料飲部門の業務口料飲部	明の甘木知塾		【事前】	料飲部門	の業務					
4	第3早 科默即 J W 未捞L种联即	] 00 基本和畝		【事後】	課題提出						
Ę	ᄨᄼᆂᄴᄳᇷᇷᄱᄱᄼᄴᅑᅜᅼᄱᄼᆣ	明のヤツザダ		【事前】	料飲部門	門の実務					
5	第3章 料飲部門の業務口料飲部	门の担当耒務		【事後】	ホテル・	旅館調査					
		7h o 🖶 7h		【事前】	料飲部門	の実務					
6	第3章 料飲部門の業務口料飲実	務の実務		【事後】	小テスト						
				【事前】	料飲部門	の実務					
7	第3章 料飲部門の業務口料飲実	務の実務		【事後】	レポート						
				【事前】	料飲部門	のまとめ		-			
8	第3章 料飲部門の業務C第3章 <i>0</i>	つまとめ		【事後】	第3章テス	スト					
				【事前】	宴会部門	 の特性					
9	第4章 宴会部門の業務 [宴会商	<b>商品の特性</b>		【事後】	課題提出						
				【事前】	宴会部門	の組織と業務役割	 割				
10	第4章 宴会部門の業務 [宴会部	<b>『門の組織</b>		【事後】	小テスト						
				【事前】	ホテル・	 旅館調査					
11	第4章 宴会部門の業務[宴会部	門の業務		【事後】	課題提出						
				【事前】	宴会部門	の組織と業務役割	 割				
12	第4章 宴会部門の業務[宴会部	門の実務		【事後】	小テスト						
				1 2 2 2 2	宴会部門						
13	第4章 宴会部門の業務 [宴会部	『門の実務			課題提出						
				-		の担当者業務					
14	第4章 宴会部門の業務 まとめ	宴会部門の実務	X D		小テスト						
				1 2 2 2 2	第3章 • 4						
15	第4章 宴会部門の業務 まとめ			【事後】	为0字 7	子なこめ					
	評価項目/割合			評価	内 容						
	1. 課 題 30 %	ホテル業界の理解、	ホテルの基礎の習得、	ホテルに関する調	査レポート	・授業の課題提出					
評価	2. 授業姿勢 30 %	集中力、社会人予備	軍としてのマナー、創	態度を重視=私語、)	居眠り、姿勢	勢(たとえば見えない	いと思って靴	を脱いだり	IJ、		
基準	3. テストその1 40 %	筆記文によるテスト	は読む人にわかり易く	、誤字脱字がない。	ように読み	医す気配りがある学生	Ė				
日信	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ	20%以上とし、授業姿勢!	<b>は30%とする。</b>								
	校外実地見学・研修等を経験(見る・ そのことを踏まえて「ホテルビジネス				能を実践的に学ぶこと	とが可能。					

科目	名	ホテル概論ⅡA								学期	前	期
担当	教員	髙野 直人		科目区分耳	専門	授業方法	講義	覆修分類	必修	単位数		2
学習	目的	ホテル産業の基	礎的知	〕識を学習	する	•		•			•	
授業	内容	宿泊産業の中の 成内容(部門別									質、社会	的役割、構
学習	目標	ホテルに関する	基礎知	〕識を習得	ال, ا	「ホテルビ	ジネス実務	食定べー	シック 2	級」に合格する	3	
使用テ	キスト	ホテルビジネス	基礎編	Ā								
週数				授業計画					ı	事前・事後の学	習	
1	第5章	:調理部門の業務	調理部	門の特性口	制約要	件からくる!	持性	【事前】	調理部門	の特性 <del></del>		
								【事後】	課題提出			
2	第5章	:調理部門の業務	調理部	門の特性口	y ニュ·	ー開発・経 <sup>5</sup>	費から見た <i>の</i>		ホテル・	旅館調査		
									レポート	提出		
3	   	:調理部門の業務	調理部	門の組織と	- 業務領	乳气調理部	明の組織	【事前】	調理部門	の組織		
	NIO T		III에 스포 디디	1 ) <b>9</b> 2 / 11 / 1936 C	- ~100	(6) 40/22 6/1	) <b>00 1911</b>	【事後】	小テスト			
4	<b>第5</b> 音	:調理部門の業務	=田1田立の	明の知典し	• <del>学</del>	나는데 드로워 III 호7 i	ョ○ 幸 敦	【事前】	メイン・	宴会・レストラン	ン・製菓の	り各業務
4	おり早	. 訥垤叫 100未伤	神经时	1 ] リノルエ・収 と	- 未彷ぴ	(리)L47포마기	100未伤	【事後】	課題提出			
_	<i>~</i> ~ □ <del>·</del> <u>·</u> ·		-m rm +n	明の中数に	<del>-</del>	〔手坐玉 <del>↓</del> 左=□.	=0./# /#.0	1 - 2	ホテル・	旅館調査		
5	弗5草	:調理部門の業務	調理部	門の美務し	調理の	<b>裡</b> 類	・設備・偏品		レポート	提出		
			-m-m+-		<b>&gt;&gt;</b> / .ded.	-m - 44-44-4-1	-1.	【事前】	西洋料理	の基礎知識		
6	6 第5章 調理部門の業務 調理部門の実務C西洋料理の基礎知識						<b>武</b>	【事後】	小テスト			
								【事前】	西洋料理	 !の主な担当者業績	<del></del> 努	
7	第5章 	:調理部門の業務	担当業	務団洋料	理の主	な担当者業績	務	【事後】	課題提出			
								【事前】	西洋料理	 !の主な担当者業績	———— 务	
8	第5章	:調理部門の業務	担当業	務□西洋料	理の主	な担当者業	務	【事後】	小テスト			
								【事前】	西洋料理	 !の主な担当者業績	 务	
9	第5章	:調理部門の業務	担当業	務□西洋料	理の主	な担当者業	務	【事後】	第5章 調	  理部門のまとめ		
								【事前】	第5章の行	复習		
10	第5章	:調理部門のまとの	め					【事後】	小テスト			
								【事前】	練習問題	į		
11	第1章	:・2章の復習						【事後】	ホテルビ	うだって実務検定詞	<b>式</b> 験対策征	
								【事前】	練習問題	į		
12	第3章	・4章の復習						【事後】	ホテルビ	 `ジネス実務検定詞	試験対策復	 复習
								【事前】	練習問題	 [		
13	検定語	式験対策 1章・25	章					【事後】	ホテルビ	ジネス実務検定詞	試験対策(	
									練習問題			
14	検定詞	式験対策 3章·45	章							·  `ジネス実務検定詞	試験対策(	 复習
								1	復習問題			
15	検定語	式験対策 5章						【事後】	IX LI I-JAC	•		
		評価項目/割合						評価	内 容			
評	1. 誤	<b>見</b> 30 %		ホテル業界の	の理解、	ホテルの基礎の	の習得、ホテル	こ関する調:	査レポート	・授業の課題提出		
計   価   基	2. 授	受業姿勢 30 %		集中力、社会	会人予備!	軍としてのマラ	ナー、態度を重	視=私語、)	居眠り、姿勢	勢(たとえば見えない	いと思って鞘	∦を脱いだり、脚 
準		マストその十 40 %	15-1-7				かり易く、誤字	脱字がない。	ように読み	返す気配りがある学生	Ė	
日信 検定・	課題	・テスト(その他検定など)!	はそれぞれ	.20%以上とし、	授業姿勢	<b>は30%とする。</b>						
課外		地見学・研修等を経駅 とを踏まえて「ホテル								能を実践的に学ぶこと	とが可能。	

ホテル·ブライダル 学科 2年課程 1 年

				ル・ノノイダル子科						ı	<del></del>
科目	名	FB実習	∃IA						学期	前	期
担当	教員	髙野 直	人	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1
学習	目的	マーケラ	ティングの重	重要性の理解とレス	トランの企	画・運営がと	出来る				
授業	内容	地域の食	<b></b> 食材を使用し	ンたメニュー開発や	_ <u></u> 調理サービ	<del>_</del> _ス方法、実績	 务を学ぶ				
学習	目標	ランチィ	<b>イベントの1</b>	と画・運営							
使用テ	キスト										
週数					授業	計画					
1	接客0	基本口	ストランサー	ービス要員に求められ	1る資質□・!	身体的資質□	知的資質	質			
2	接客0	基本口	ストランサー	ービス要員に求めらオ	ιる資質□ ∜	精神性と道徳	性口・プロ	ロフェッ	ショナル	としてのi	資質
3	接客0	)基本□資	質を生かす.	具体的行動指針□ 協	調性□・品格	のある行動					
4	接客0	)基本□職	務上の容姿	、服装□ 制服□ 身力	<b>ごしなみ</b>						
5	接客の	〕基本□•	レストラン	の要員とそれぞれの任		ーー サービス準備	の作業□	・施設の	整備		
6	接客0	○基本□接	遇動作□∙諸	<b>6準備を完了してお客</b>	様を迎える[	 ⊒ 接客にあた	こって				
7	什器值	帯品□• 什	器備品の種	類、名称、用途							
8	食器0	)取扱いと	上管理□ 取	扱い上の留意点							
9	レス	〜ランの管	<b>萱理業務</b> □∙∶	オープン前の準備ロ∙	クローズ後(	の業務□客席家	秦内				
10	メニ <i>:</i>	⊥一作成[	<b></b> メニュー(	の構成							
11	ランラ	<b>Fイベン</b>	۲								
12	ランラ	<b>チイベン</b>	<b>+</b>								
13	ランラ	<b>Fイベン</b>	<b>k</b>								
14	ランラ	<b>Fイベン</b>	<b>k</b>								
15	ランラ	FイベンI	ト振返り口								
	4 =	評価項	1目/割合	ランチ営業に向けて	<b>の</b> 進礎姿型 -		価内容		、証価すっ		
評価		洙	30 %	授業態度、積極性・			ッエ四音、	ル米音から	итшу б		
価 基 準		マ未安す  テストそ(		技未忠及、憤慨性・   レポート、テスト結							
				レバート、テスト結 いぞれ20%以上とし、授業姿勢(							
目標検 定・課外 授業実 施予定・											

2年課程

				プライダル 字科			2年課程	·				年 ————
科目	名	FB実習	ΙB						学期	後		期
担当	教員	髙野 直力	(	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1	
学習	目的	マーケテ	ィングの重要'	性の理解とレスト	トランの企同	画・運営が出	まる	•				
授業	内容	地域の食	材を使用した。	メニュー開発や訓	周理サービス	ス方法、実務	ら を学ぶ	•				
学習	目標	ランチイ	ベントの企画	• 運営								
使用テ	キスト											
週数					授業	計画						
1	レス	トラン運営	'□ 商品化計画									
2	レス	トラン運営	ロ セールス									
3	レス	トラン運営	'□ 販売促進、	広報								
4	テーフ	ブル上での	事故対処□救護	方法								
5	注文[	〕 注文の気	受け方□ 販売係	足進								
6	料理0	D運搬□• 侴	食器類の運搬及	び持ち方□ 料理の	の運搬及び持	持ち方□ 歩行	動作					
7	テーフ	ブルサービ	スロ 料理、飲	物に応じたテーブ	<sup>`</sup> ルサービス	の方法						
8	食器類	頁の片付け	方法口 皿とナ	イフ、フォークロ	トグラス							
9	テーフ	ブル上での	事故対処□教護	方法								
10	サーは	ごス実技ト	レーニングロン	ミュレーション								
11	ランラ	<b>F</b> イベント										
12	ランラ	チイベント										
13	ランラ	チイベント										
14	ランラ	Fイベント										
15	ランラ	Fイベント										
		評価項目			D ## ## ## ##		価内容					
評			30 %	ランチ営業に向けての			)企画書、	提案書から	評価する			
価 基 港		受業姿勢 		授業態度、積極性・協								
準		テストそ( 		レポート、テスト結り 20%以上とし、授業姿勢は		)						
目標検 定・課外 授業実 施予定・			2.		••							

2年課程

		ホテル・.	フライタル 字科			2年課程			2	年
科目	名	FB実習ⅡA						学期	前	期
担当	教員	髙野 直人	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1
学習	目的	マーケティングの重要	性の理解とレスト	トランの企i	画・運営がと	出来る				
授業	内容	地域の食材を使用した	メニュー開発や記	周理サービ	ス方法、実	多を学 <i>る</i>				
学習	目標	ランチイベントの企画	▪運営							
使用テ	キスト									
週数				授業	計画					
1	メニュ	ュー考案□• 市場調査□• ∶	コンセプト							
2	メニュ	ュー考案□・提案書作成								
3	提案書	書の発表								
4	レス	トラン運営口 商品化計画	Ī							
5	苦情処	処理□ 料飲接遇サービス	における苦情処理	!						
6	苦情処	処理□ 受客の拒否□ ス:	キッパーなど							
7	レス	トラン運営口 セールスロ	┣ 販売促進、広報							
8	サート	ごス実技トレーニングロン	<sup>,</sup> ミュレーション							
9	サーは	ごス実技トレーニングロン	<b>・</b> ミュレーション							
10	ランラ	チイベント リハーサル								
11	ラン	チイベント								
12	ランラ	チイベント								
13	ランラ	チイベント								
14	ランラ	チイベント								
15	ランラ	チイベント振返り								
	1 1	評価項目/割合 課題 30 %	ランチ営業に向けての	の準備資料		価 内 容 の企画書、		5評価する		
評価		ix 超 30 %  授業姿勢 30 %	授業態度、積極性・抗			· # 12 15 /		- н і іші 7 (О		
評 価 基 準		た未安す 30 % 	レポート、テスト結!							
		・テスト(その他検定など)はそれぞれ								
目標検 定・課外 授業実 施予定・										

ホテル·ブライダル 学科 2年課程 1 年

科目	名	ブライダル総論IA	4					学期	前期
担当	教員	 髙野 直人	科目区分専門	授業方法	講義	<b>覆修分</b> 類	必修	単位数	2
学習	目的	ウェディングプラン		を基礎知識	を学習する	3 3	<u> </u>	I	l
授業	内容	ウェディングプラン 場で実際に起こる事		体的業務内	容、業務の	の流れなど	仕事に携	わるために必要	要な専門知識を、現
学習		AWP検定に合格し、		全般を理解す	トる				
使用テ	キスト	ウエディングプラン	ノナーテキスト						
週数			授業計画				ı	事前・事後の学	·習 
1	    ヒュ-	-マン概論・歴史概論				【事前】	ブライダ	`ル産業について <del>`</del>	予習
						【事後】	ブライダ	ル調査	
2	  言語#	既論・プレゼンテーシ	ョン			【事前】	結婚式の	歴史について	
						【事後】	ブライダ	ル調査のレポー	ト提出
3	 	既論・ロールプレイン	Й			【事前】	結婚式の	発展	
	יים עני	ж <sub>ит</sub> — 7000 го				【事後】	課題提出		
4	実務棚	m= <del>△</del>				【事前】	サービス	の基本	
4	关伤机	<b>沁 前冊</b>				【事後】	検定試験	問題集による小・	テスト
_	<b>5</b>		<del>*</del>			【事前】	結婚式の	組織について	
5	3 1 1	ムスケジュール・見積	昔			【事後】	ホテル調	査	
		*0 <b>_</b> .				【事前】	トレンド	·調査	
6	T-7	ブルプラン				【事後】	課題提出		
						【事前】	トレンド	 ·調査	
7	席次ā 	長と続柄				【事後】	課題提出	<u> </u>	
						【事前】	結婚式場	調査	
8	オリシ	ジナルプラン作成				【事後】	レポート		
						【事前】	まとめ		
9	オリシ	ジナルプラン提案				【事後】	検定試験	:問題集による小・	テスト
						【事前】	結婚式場	調査	
10	クリニ	エイティブ概論				【事後】	課題提出		
						【事前】	ブライダ	 `ル商品	
11	広告	・企画概論				【事後】	課題提出		
						【事前】	ブライダ	 `ル商品	
12	経済机	既論				【事後】	レポート		
						【事前】	ブライダ	 `ル商品	
13	披露娿	宴の役割						問題集による小	テスト
								白部門 まとめ	
14	披露图	宴の役割						問題集による小	 テスト
							まとめ		
15	模擬捷	<b>姓露宴</b>					前期期末	:計略	
		評価項目/割合				評価		・ログの人	
=17	1. 誤	<b>見 30%</b>	実習課題の取り組	み姿勢					
評 価 基 準	2. 授	受業姿勢 30 %	出席状況・授業態	度・言葉遣い					
準		-ストそのf 40 %	期末テスト	-+					
日 存定•	課題	・テスト(その他検定など)はそれ	ぞれ20%以上とし、授業姿	・勢は30%とする。					
課 授 実施									
予定・									
その - 他									

科目	夕								後	—————— 期			
担当		_	科目区分専門	授業方法	講美	<b>万</b> 修分類	心攸		校	<del>刺</del> 2			
学習		実際の新郎新婦の結婚	 				l I	単位数 み、ブライダル	 レプロデ <i>=</i>				
子白  授業		<u>連の流れ、役割、</u> 理由 ウェディングプランナ	-一の役割、具体	的業務内容	字、業務の流	れなど	仕事に携	わるために必要	要な専門知	印識を、現			
学習		場で実際に起こる事例 ブライダル業界の専門	lを交え学ぶ l家達との仕事を	通じたやり	り取りの中で	ご、各業	種、仕事	への理解を深め	り、今後の	り進路選択			
		の参考とすることが可		理解する									
週数	+^r	ウエディングプランナ	ーナキスト  授業計画					事前・事後の学	· 캠				
22.50			汉木町白			【事前】	サービス	- 単的 単仮の子 部門の特性					
1	ブライ	(ダルに関わる人々の役割	割				課題提出	HN 100 141 T					
								低十三十二					
2	ブライ	イダルストーリー:集客	· 告知				ホテル結						
							レポート						
3	ブラ~	イダルストーリー:計画(	の基礎(マーケテ	ィング)		【事前】	サービス	部門の基本知識 					
						【事後】	検定試験	問題集による小っ	テスト				
4	ブラノ	<b>イダルストーリー:ビジ</b>	えてパートナー深'	÷		【事前】	プランナ・	一の業務					
•			ran i') 医	<b>Æ</b>		【事後】	課題提出						
_	_ " _		=DID. I		T (		プランナ	一の実務					
5	フライ	<b>(ダルストーリー:ブラ</b> ~	イタル現場における	る用語、必要	要知識の埋解	1	ホテル結	婚式調査					
						【事前】	プランナ・	 一の実務					
6	ブライ	(ダルストーリー:プラ)	ンニング・コンセ	プトシート作	作成	【事後】	小テスト						
	フーゴニノがエフトール・今担しノマウト・今担は佐プニン・・・・が					【事前】	プランナ・	 一の実務					
7	7 ブライダルストーリー:会場レイアウト・会場装飾プランニング						」レポート提出						
						【事前】							
8	ブライ	<b>イダルストーリー:コン</b> 1	セプトシートプレ・	ゼンテーショ	ョン								
							小テスト						
9	ブライ	イダルストーリー:婚礼!	見積書の作成				<u> </u>	ーサーの特性 					
						【事後】	課題提出						
10	ブラ~	イダルストーリー:新規 <b>持</b>	接客の基本・ロー/	ルプレイング	j	【事前】	プロデュ	ーサー業務の役割 	<b>削</b>				
						【事後】	小テスト						
11	ブラィ	イダルストーリー:パー	トナー選定 パー	トナーとのき	モックオフミ	【事前】	ホテル結	婚式の調査					
''				1 ) (3)	( ) ) 3 ) ]	【事後】	課題提出						
10	<b>-</b>			9 F 1 # 11	tuvt 기다 성 단		プロデュ・	ーサー業務の役割	訓				
12	ノフ <sup>ィ</sup> 	<b>(ダルスト─リ─</b> :婚礼打	16せ() 全体説明	引、兄傾り、	<b>抬</b> 何祆、合植		小テスト						
						【事前】	プランナ・	 一以外の実務					
13	ブラ~	<b>(ダルストーリー:婚礼</b> 打	行合せ後の業務①	招待状の発	注、各種手酉		課題提出						
	ブライ	 (ダルストーリー:婚礼		  ンセプトシ	ート、プラ			 一以外の業務					
14	-	ング基礎作成 料理、飲料					小テスト						
						【事前】							
15	ブライ	イダルストーリー:婚礼	T合せ後の業務②	書類作成、	各種手配								
		評価項目/割合	<u> </u>			評価	内 容						
	1. 誤	是題 30 %	実際のお客様の一生に	こ一度の結婚式	た手掛けること			-ベーション もっと	素敵な結婚ュ	 けにするための¶			
評価	2. 授	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	積極性・協調性・創	造性・実現力・	責任感・リータ	ずーシップ	・ドキュメン	<b>・</b> トカ					
基準	3. 7	ストその1 40 %	授業内容に対するレ	ポート ブライ	ダルストーリー	に向けての	準備資料 授	<b>受業以外におけるアイ</b>	′ デア等から	の企画書、提案			
日标	課題	・テスト(その他検定など)はそれぞれ	20%以上とし、授業姿勢に	は30%とする。									
検定・ 課外			<b>DD</b> 4 1										
実施		地見学・研修等を経験(見る とを踏まえて「ホテルビジネス -						Eを実践的に学ぶこと	どが可能。				
予定・その													
4177													

ホテル·ブライダル 学科 2年課程 2 年

科目	名	ホテル概論ⅡA						学期	前	期			
担当	教員	髙野 直人	科目区分専門	授業方法	講義	覆修分類	必修	単位数		2			
学習	目的	実際の新郎新婦の結 連の流れ、役割、理		-スするこ	とで、ブライ	イダル業	界の仕組	み、ブライダノ	゙゙゙゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	ュースの一			
授業	内容	ウェディングプラン 場で実際に起こる事	ナーの役割、具体	的業務内容	容、業務の源	流れなど	仕事に携	わるために必要	要な専門知	□識を、現			
学習	目標	ブライダル業界の専 の参考とすることが	門家達との仕事を		り取りの中で	で、各業	種、仕事	「への理解を深め	か、今後の	り進路選択			
使用テ	キスト	ウエディングプラン	ナーテキスト			1							
週数			授業計画				<u> </u>	事前・事後の学	-習				
1	前期の	の振り返り				【事前】 ———	ブライダ	ルのトレンド					
						【事後】	課題提出						
2	ブラ~	イダルスト <b>ー</b> リー:ビジ	ジネスパートナーと	の情報共有		【事前】	ブライダ	ルのトレンド					
						【事後】	レポート	提出 ————————————————————————————————————					
3	ブラィ	イダルスト―リー:婚礼	.会場との打合せ、	情報共有		【事前】	ブライダ	ルのトレンド					
						【事後】	小テスト						
4	ブラィ	イダルストーリー:婚礼	.打合せ③の進備 最	<b>帚終</b> 版資料作	成。手配先孫		ブライダ	ルのトレンド					
<b>T</b>			3]] L C ⊕ <b>*</b> 3 → Im 4.	X#\#X#\	7200		課題提出						
5	ブラノ	イダルストーリー:婚礼	<b>廿슬+(3) 司슬</b> 廿슬	·+ 쓰미(-	・向けての最終		フォトウエディング						
J		インルベド グー・発化	nice o hair	16, 341	-  中]() C O J A文 小		レポート	提出					
6		ノゲョフ しょしょ 低力	サムル後の要数②	<b>事</b> 叛 <i>此</i> 武	夕廷工町	【事前】	フォトウ	エディング					
6	ブライダルストーリー:婚礼打合せ後の業務③ 書類作成、各種手配					【事後】	小テスト						
-	ブライダルストーリー:最終確認 パートナー個別最終打ち合わせ					【事前】	<b> </b>   フォトウエディング						
7	ノフ <sup>ィ</sup> 	1ダルストーリー: 最終	を確認 ハートナー値	画別	合わせ	【事後】	課題提出						
_						【事前】	フォトウ	エディング					
8	フラ <i>^</i> 	イダルストーリー:最終	経確認 リハーサル			【事後】	小テスト						
	,					【事前】	レストラ	ンウエディング					
9	ブラ <i>^</i> 	イダルストーリー:最終	経確認 会場・パート	トナー打合せ		【事後】	まとめ						
						【事前】	レストラ	ンウエディング					
10	ブラ <i>^</i> 	イダルストーリー:搬入	、、準備			【事後】	小テスト						
						【事前】	レストラ	 ンウエディング					
11	ブライ	イダルストーリー:前日	リハーサル・会場	確認・手配物	物確認	【事後】	検定問題						
						【事前】	練習問題						
12	ブラ~	イダルストーリー:本番	Ť			【事後】	検定問題						
						【事前】	練習問題						
13	ブライ	イダルストーリー:反省	ì会 オペレーション	ノ、業績、改	<b>Z善案</b>	【事後】	過去問						
						【事前】	練習問題	[					
14	ブライ	イダルストーリー : ビジ	ジネスパートナーと	の反省会 次	(年度への引き	【事後】	過去問						
						【事前】	復習問題	 [					
15	ブライ	イダルストーリー:振返	<b>ら</b> りディスカッショ	ン		【事後】							
		評価項目/割合				評価	内 容						
評	1. 誤	果題 30%	実際のお客様の一生	に一度の結婚式	式を手掛けること	とへの責任、	、自身のモラ	チベーション もっと	素敵な結婚ュ	だにするための			
; 価 基 準	2. 授	受業姿勢 30 %	積極性・協調性・創	造性・実現力・	・責任感・リーク	ダーシップ	・ドキュメン	ントカ					
準		Fストそのf 40 % ·テスト(その他検定など)はそれぞ	授業内容に対するレ		ダルストーリー	に向けての	準備資料 拍	受業以外におけるアイ	イデア等から	の企画書、提到			
日信 検定・	林思	・/ハト(w  世秋赴ゆと川まで礼で	ŋ v20 /U以上Cし、 技术安勢	140070CY 00									
課外 授業													
実施 予定・ その													
仕													

1

科目	名	ホテル実用英語 IB						学期	後	期
担当	教員	松倉 基晴	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1
学習	目的	ホテルにおける各現場(	(フロント・レスト	トラン・客室	等)で想定さ	れる場面	面において	て、接客サービス	で必要な基	礎的な語彙
授業	内容	ホテルスタッフと顧客と	のロールプレイ服	/ 式を中心と	したアウトフ	プット型の	D演習			
学習	目標	ホテルにおける各現場に	おける接客サーヒ	ごスで必要な	:基礎的な語彙	を・表現に	こ習熟し、	読む・聞く・話	す・書くこ	とができる
使用テ	キスト	Hotel & Hospitality Englis	sh by Mike Deymo	our, Harper	Collins を軸に	、適宜、	補助プリ	ノント等を使用す	·る	
週数					授業計画					
1	Unit 1	4: In the Restaurant (1)%	€TOEIC Bridge Te	est の模擬試	験による実力	)測定				
2	Unit 1	5: In the Restaurant (2)								
3	Unit 1	6: In the Restaurant (3)								
4	Unit 1	7: Housekeeping								
5	Unit 1	8: Housekeeping Probler	ms							
6	Unit 1	9: Room Service								
7	Unit 2	20: Guest Services								
8	Unit 2	21: In the Business Cente	r							
9	Unit 2	22: Recommendations for	places to eat							
10	Unit 2	23: Checking Out								
11	Unit 2	24: Problems in Checking	Out							
12	Revie	ew by Resouece Bank: K	ey Phrases, Key \	Words						
13	Revie	ew by Resouece Bank: H	ow do I say ?							
14	Revie	ew by Resouece Bank: O	n the Phone							
15	Revie	ew by Resouece Bank: M	lodel Emails							
	4 :	評価項目/割合	也中才又 <b>理</b> 野(ロ		・トス癸圭た会	評価を		- ドロカ証価します		
		課題 40 % 	指定する課題(ロートリング 出欠および授業へ			40 / <b>(</b> W)	***ソゼロのも	へルで計Шしまり		
価基		授業姿 <sup>§</sup> 30 % 				±+				
		テスト 30 % 	毎回の授業で行う れ20%以上とし、授業			J 9				
▶授業実績		ストの各ユニットのローノ				の演習を	行います。	。⑪発音クリニッ	ック②簡単7	な読み物に。

——— 科目	名				TOEIC	L&R	IA (Hig	Jh)			学期	前	期		
担当	数員	松倉 基	青		科目区分専門	月	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数		2		
学習	目的	英語で考	きえ表	現する「英語	<del>I I I I</del> E脳」の習慣を	つける	る。また英	 語での読解力及	L び発話力	L を強化する	5.				
授業	内容	英文を読	もみ、	自分の考えを	英語でまとめ	る。葬	数科書内の	時事問題に関心	を持ち、	周囲に各計	 話題に関し自分の考	えを英	 語で伝える。		
学習	目標	英文を読	読み理	解を深め、自	目分の考えを発	話する	5。英語を	使用する状況に	慣れ、自	発的に学習	型した内容を表現す	てる。			
使用テ	キスト	Pathway	/s 1: F	Reading, Writi	ing, and Critica	al Thin	king 2nd e	dition. その他場	合によって	ては講師準		、資料を	 を使用		
週数					授業計画						事前・事後の学	智			
1	クラフ	<b>≀</b> ① · ★ ৷	IT۱	テーション	講師・生徒 <i>の</i>	)白己!	紹介 白己	.紹介の英作文の		なし					
'	, , , ,	<b>(</b> () . 7)	,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ᅲᇚ		мл、нс	加力の大下人は		簡単な英	語での自己紹介を行	行う準備	iを行う。		
	<b>5</b> – -	<b>7</b>	4 4 D -	a dia a 4 Dasa		منالم ما دا	- 45 = 7	المنامة المناس	【事前】	Unit 1 Pre Reading 1	eparing to read, Und I を読む。	derstand	ling the reading,		
2	クラノ	K(I) : Uni	TRE	ading 1 Prepa	aring to read, F	Readir	ig 1クラス	②:Unit 1 Unde		クラス学	習内容の復習				
							0		【事前】	Unit 1 Pre	eparing to read, Uno 2を読む。	derstand	ling the reading,		
3	クラス	K(1) : Uni	t 1 Vi	deo, Reading	2 Preparing to	read	クラス②:	Unit 1 Reading			習内容の復習				
									【事前】	Unit 2 Pre	eparing to read, Und	derstand	ling the reading,		
4	クラス	ス① : Uni	t 2 Ex	cplore the the	me, Reading 2	? Prepa	aring to rea	nd, Reading 1ク	【事後】		習内容の復習				
									【事前】	Unit 2 Pre	eparing to read, Uno	derstand	ling the reading,		
5	クラス	ス① : Uni	t 2 Vi	deo, Reading	2 Preparing to	read	クラス② :	Unit 2 Reading		<del>                                     </del>	習内容の復習				
									【事前】		eparing to read, Und	derstand	ling the reading,		
6	クラス	ጻ① : Uni	t 3 Ex	plore the the	me, Reading 2	? Prepa	aring to rea	nd, Reading 1ク	【事後】	Reading 1	『を読む。 習内容の復習				
									【事前】	Unit 3 Preparing to read, Understanding the reading. Reading 2を読む。					
7	クラス	ጳ① : Uni	t 3 Vi	deo, Reading	2 Preparing to	read	クラス② :	Unit 3 Reading			2を読む。  習内容の復習				
									【事前】		eparing to read, Und	derstand	ling the reading,		
8	クラス	ጻ① : Uni	t 4 Ex	plore the the	me, Reading 2	? Prepa	aring to rea	nd, Reading 1ク		Reading 1	l を読む。  習内容の復習 (Unit	1-3).			
									【事前】	Unit 4 Pre	eparing to read, Und		ling the reading,		
9	クラス	ス①:確請	忍テス	. F① Unit 1	-3の解説、Un	it 4 Ur	nderstandir	ng the reading, [		Reading 2	2を読む。  習内容の復習				
									【事前】	Unit 5 Preparing to read, Understanding the reading					
10	クラス	ス①:Uni	t 4 Re	eading 2, Und	lerstanding the	readi	ng, Writing	クラス②:Unit		Reading 1を読む。 クラス学習内容の復習 (Unit 1-3),					
											eparing to read, Unit		ling the reading,		
11	クラス	ጳ① ։ Uni	t 5 Ur	nderstanding	the reading, D	evelop	oing reading	g skillsクラス②	【事前】	Reading 2					
											習内容の復習 eparing to read, Und	derstand	ling the reading.		
12	クラス	<b>ጳ</b> ① : Uni	t 5 Re	eading 2, Und	lerstanding the	e readi	ng, Writing	クラス②:Unit		Reading 1	を読む。				
											習内容の復習 (Unit  eparing to read, Und		ling the reading		
13	クラス	ጻ① : Uni	t 6 Ur	nderstanding	the reading, D	evelop	oing reading	g skillsクラス②	【事前】	Reading 2	· 2を読む。	acrotane	mig the redding,		
									【事後】		習内容の復習 eparing to read, Und	doratana	ling the reading		
14	クラス	ጻ① : Uni	t 6 Re	eading 2, Und	lerstanding the	e readi	ng, Writing	クラス②:全体	【事前】	Reading 2		uerstand	ing the reading,		
									【事後】	クラス学	習内容の復習 				
15	クラス	又①:全位	本のま	:とめ <b>切</b> ラス(2	②:確認テスト	-(2) l	Jnit 4-6		【事前】	Unit 4-6					
									【事後】						
	1. 誤		項目/割		自己紹介プレ	/ゼン <del>-</del>	テーション	 、課題	評価	시 참					
<del>                                    </del>		受業姿勢	30						内でのル	ールを遵守	テしているか(例:	出席/	 欠席、クラス内で		
価基[		テスト他	40		ペーパーテス										
	課題・テ	こと(その	<b> </b>   他検定	    など)はそれそ	 デれ20%以上とし、	、授業資	S勢は30%と	する。							
目標検定・課															
外授業 実施予	TOEK	C Bridge	模擬詞	式験で180満点	点中100点以上	をめさ	ぎす								
定・その他															

				ホテル・ブ	ライダリ	 レ学科				 2年課程			1	 年
科目		<u> </u>				DEIC L&R	R I B	(High	n)	乙一杯任		 学期	後	 期
担当		松倉 基明	 语		科目区	<del></del>	T	方法	•	<b>居修</b> 公類	選択必修	—————————————————————————————————————		2
学習				習内容を活か								ーニーデーング が能力を高める。		
授業		<del> </del>		e Testに特化										
学習		<u> </u>		e Testでできん										
使用テキ	キスト	学校で開	<b>講入済</b>	みのTOEIC E	Bridge Te	est対策用ラ	テキスト	を使用	].					
週数		1			授業計	·画						事前・事後の学	習	
4	<b>4</b>	- > . =	· _ ·	当出土の	h = 7	88 <del>- 1</del> 7 = 4 00	TOF	-10 D-:-	J T↓ Ø =∺[		なし			
1	オリコ	レンテー:	ンヨン	/、字期中の?	クラスに	関りる説明	3、10E	EIC Brid	dge Testの説印	【事後】	TOEIC Brid	ge Testの概要を見 <sup>っ</sup>	ておく。	
	144 162 -		144 165	7 <b>-</b> - 1 0 <del>11</del>						【事前】	なし			
2	模擬力	<b>テスト①、</b>	模擬	経テスト①答え	え合わせ					【事後】	なし			
										【事前】	クラス学	当内容の復習		
3	TOEI	C Bridge	Test	リスニング①	)、リーラ	ディング①				【事後】	復習ワーク	クシート (課題)		
										【事前】	クラス学	習内容の復習		
4	TOEI	C Bridge	Test	リスニング②	)、リーラ	ディング②				【事後】	復習ワーク	フシート(課題)		
										【事前】	クラス学	当内容の復習		
5	模擬元	テスト②、	模擬	そう こうかん こう こうかい こうかい こうかい かいかい こうかい かいかい かいかい か	え合わせ					【事後】	復習ワーク	フシート(課題)		
										【事前】	クラス学	 習内容の復習		
6	TOEI	C Bridge	Test	リスニング③	)、リーラ	ディング③				【事後】	復習ワーク	クシート(課題)		
										【事前】	クラス学習	当内容の復習		
7	TOEI	C Bridge	Test	リスニング④	)、リーラ	ディング④				【事後】	復習ワーク	フシート(課題)		
										【事前】	クラス学習	当内容の復習		
8	模擬元	テスト③、	模擬	そうしょ そうない そうない そうない かいかい そうない かいかい そうない かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	え合わせ					【事後】	復習ワーク			
										【事前】	クラス学習	当内容の復習		
9	TOEI	C Bridge	Test	リスニング⑤	)、リーラ	ディング⑤				【事後】	復習ワーク	 ケシート(課題)		
												習内容の復習		
10	TOEI	C Bridge	Test	リスニング⑥	)、リーラ	ディング⑥						クシート(課題)		
												習内容の復習		
11	模擬元	テスト④、	模擬	そうなり 倒答さ	え合わせ							フシート(課題)		
												当内容の復習		
12	TOEI	C Bridge	Test	リスニング⑦	)、リーラ	ディング⑦						ーーーーー ウシート(課題)		
												当内容の復習		
13	TOEI	C Bridge	Test	リスニング⑧	り、リーラ	ディング⑧						ョハ谷の後音  クシート(課題)		
												ック 1 (味恩)  習内容の復習		
14	模擬元	テスト⑤、	模擬	そうこと (多) そうだい こうしゅう こうしゅう こうしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	え合わせ	、テストま	ミとめ							
										1		クシート(課題) 		
15	TOEI	C Bridge	Test 2	本テスト							テスト対象	末子首 		
		評価	項目/割	·   合	Τ					事後】				
	1. 認		I	%	課題(復	習ワークシ	- F)							
価速[	2. 持	受業姿勢	30	%	積極的な	授業参加姿	勢の有無	悪、クラ	ス内でのルール	レを遵守し <sup>-</sup>	ているか (例	削:出席/欠席、クラ	ス内での打	受業規律の遵守)
		テスト他				、ト、本テス								
	課題・テ	スト (その	の他検定	宝など) はそれそ	ぞれ20%以	上とし、授業	姿勢は3	0%とす	<b>3</b> .					
目定外実定の機課業予その	TOEI	C Bridge	e 模携	疑試験で180	満点中1	20点以上	をめざ	<sup>-</sup> च						

					- / <del>                                    </del>	224 T.J			0 to === 10	1			
<b>1</b> √1 □	1 27			ホテル・ブ			O IIA /Lia	h\	2年課程		25 Ho	2   <u></u>	年
科目		2T-1- 1/2					R IIA (Hig	<u>´</u>		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	学期	前	期
担当		須加 光		11	科目区分		授業方法	演習	■ 履修分類 ■		単位数		2
学習  授業[				、ピーキングの引 							ションを行う。  やり方も学習する。		
学習											リティカルティンキ: リティカルティンキ:	ングの其	
使用テ		Blass, La	urie ar		2018. Pathv						NLE Cengage Learni		
週数		再叫牛佣	0)/\/	/ トプ・ノト、貝々	キを使用  授業計画				Τ		 事前・事後の学	2習	
~~~					ZXIII L				事前】	なし	710 7001		
1	オリエ	ンテーシ	ション	√、講師・生徒	をの自己紹	介			【事後】		 内容の把握		
									+	-	内容の把握、クラ	ス学習広	  突の復習
2	(1) He	althy live	S							教科書の		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
									+		<sup>™</sup> 圏 内容の把握、クラ	7 学邓古	一の名羽
3	(2) Te	chnology	toda	y and tomorro	W							<b>ヘチョハ</b>	
									+	教科書の		- 24 22 -	
4	(3) Cu	lture and	l tradit	tion							内容の把握、クラ <sup>:</sup>  	ス字省内	谷の復習 
									+	教科書の			
5	(4) A t	hursty w	orld						【事前】	教科書の	内容の把握、クラズ	ス学習内	容の復習 
									【事後】	教科書の	課題		
6	(5) Ins	side the b	rain						【事前】	教科書の	内容の把握、クラ 	ス学習内	容の復習 
									【事後】	教科書の	課題		
7	(6) Le	t's eat!							【事前】	教科書の	内容の把握、クラス	ス学習内	容の復習
	( )								【事後】	教科書の	課題		
8	スピー	-キング <i>=</i>	テスト	·及びプレゼン	ノテーショ	ンの課題	一	の仕方	【事前】	教科書の	内容の把握、クラス	ス学習内	容の復習
	χ.	(2)	, , , ,	X0-70-23	, , , ,	2 07 IN IE	· 九双、 千丽	<b>67</b> [ <u>1</u> 7]	【事後】	教科書の	課題		
9	(7) Ou	ır activa (	aarth	プレゼンテ・		n# <b>+</b> 1			【事前】	教科書の	内容の把握、クラ	ス学習内	容の復習
9	(7) 00	ii active t	zaitii	70007	<i>7</i> <sub>3</sub> <i>7</i> <sub>0</sub>				【事後】	教科書の	課題		
10	(9) \\/	andore fr	om th	e past プレ <sup>.</sup>	<b>げ</b> いテー?	. ¬ `. O.	+ <b>+</b> ②		【事前】	教科書の	内容の把握、クラ	ス学習内	容の復習
10	(6) VV	Jildeis III	OIII III	e pasi JD	€ <b>⊅</b> ∫−,	/ ョンの1.	T)](2)		【事後】	教科書の	課題		
44	(0) 0-			<b>-</b> 9. 125.	- > - >	. <b>⊅</b> 4±0	2)		【事前】	教科書の	内容の把握、クラス	ス学習内	容の復習
11	(9) Sp	ecies sur	rvivai	プレゼン	ナーション	ンの仕方(	3)		【事後】	教科書の	課題		
					0		- 11 1 6		【事前】	教科書の	内容の把握、クラ	ス学習内	容の復習
12	(10) E	nterpren	ers ar	nd innovators	フレゼン	/ナーショ	ョンの仕方(4	)	【事後】	教科書の	課題		
	0 -								【事前】	教科書の	内容の把握、クラス	ス学習内	  容の復習
13	プレセ	ジンテーシ	ション	vの行い方⑤					【事後】	プレゼン	テーションの準備		
									【事前】	プレゼン	テーションの準備		
14	プレセ 	ジンテーシ	ション	<b>,</b> リハーサル	<i>、</i> 、プレゼ	ンテーシ	ョン原稿提	出	【事後】	プレゼン	テーションの準備		
									【事前】	プレゼン	テーション、テス	トの準備	<del></del>
15	グルー	-ププレ1	ゼンテ	ーション発表	き、まとめ				【事後】				
		評価	項目/割	l I					評価	<u> </u> 内容			
	1. 課		30	%	個人プレセ	ジンテーシ	ョン、課題 						
価基		業姿勢	30						のルールを	遵守している	るか(例:出席/欠席	ま、クラス	、内での授業規律の 
		ストそのイ		<b>%</b> <sup></sup> 全など)はそれぞ			、ミニテスト						
目標検	11/4 KM - 1	X1 (70	, i已1犬从	COC/ 10 (117	-102070以上	こし、戊未	д <del>д</del> 100070 С	, wo					
定・課 外授業 実施予	TOEI	C Bridge	e 模拨	疑テストで18	0点満点。	中140点」	以上をめざ	す					
実施で 定・そ の他		J											

				ノノイダル 子科			2 牛 沫 性	<u> </u>			<del></del>		
科目	名	サービス接	 遇 I A						学期	前	期		
担当教	教員	髙野直人		科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1		
学習目	目的	ホテル業界	・ブライダ	ル業界で必要な	サービス接	 遇の心構える	上学習す	る	•				
授業区	内容	ホテル業界	・ブライダ	ル業界で必要な原	顧客に満足	を与える行動	かをサー	ビス接遇	島の観点	から学ぶ			
学習目	目標	ホテル業界	・ブライダ	ル業界で必要な一	サービス接続	遇の知識と行	<b>丁動基本</b>	姿勢を理	2解する	1			
使用テ	キスト			ガイド3級 サー 題集 1-2級	-ビス接遇検	定受験ガイ	ド2級	サービス	接遇検	定実問題	集3級		
週数				<u> </u>	————— 授業	計画							
1	3 級勻	学習 サービス	、スタッフの	資質 ①(必要と	される要件に	まか)							
2	3 級勻	学習 サービス	.スタッフの	資質 ②(従業要金	件ほか)								
3	3級勻	学習 専門知識	₺ ① (サ─₺	ビスの知識ほか)									
4	3 級勻	学習 専門知識	₺②(従業領	印識ほか)									
5	3 級勻	学習 一般知識	讠(社会常識	記まか)									
6	3 級勻	学習 対人技能	:①(人間	関係ほか)									
7	3 級勻	級学習 対人技能 ② (接遇知識ほか)											
8	3 級勻	学習 対人技能	③(話した	方ほか)									
9	3 級勻	学習 対人技能	:④(服装印	<b>まか</b> )									
10	3 級勻	学習 実務技能	:①(問題ダ	処理ほか)									
11	3級与	学習 実務技能	②(環境引	整備ほか)									
12	3 級勻	学習 実務技能	③(金品作	管理ほか)									
13	3級勻	学習 実務技能	· ④(社交》	業務ほか)									
14	2 級勻	学習 サービス	.スタッフの	)資質 前半(必要	とされる要値	‡ほか)							
15	2 級勻	学習 サービス	.スタッフの	資質 後半(従業	要件ほか)								
	4 =	評価項目/害		海辺細路の吸りやっ	次執	評	価 内 容						
評		果 題 30 		演習課題の取り組み									
価 基 準		受業姿勢 30		出席状況・授業態度									
**		テストそ( 40 ·テスト(その他検定		実技試験と期末試験 20%以上とし、授業姿勢は									
目標検 定・課外 授業実 施予定・		ス接遇検定 6月											

	-								,		
科目	名	サービス接近	围 I B						学期	後	期
担当教	<b>数員</b>	髙野直人		科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1
学習目	目的	ホテル業界・	・ブライタ	、 ル業界で必要な <sup>+</sup>	サービス接i	遇の心構え <i>を</i>	学習す	る			
授業内	内容	ホテル業界・	・ブライタ	゛ル業界で必要な履	顕客に満足	を与える行動	かをサー	- ビス接退	風の観点	から学ぶ	
学習目	目標	ホテル業界・	・ブライタ	「ル業界で <b>必</b> 要な <sup>+</sup>	サービス接続	遇の知識と彳	<sub>丁</sub> 動基本	姿勢を理	2解する		
_ <u>-</u> 使用テ≐	キスト	サービス接近	 遇検定受験	ガイド2級 サー	 ビス接遇検	定実問題集	1-2級	<u></u>			
週数					授業	計画					
1	2 級勻	学習 専門知識	① (サー	ビ知識ほか)							
2	2 級勻	学習 専門知識	②(従業	知識ほか)							
3	2 級勻	学習 一般知識	(社会常語	哉ほか)							
4	2 級勻	学習 対人技能	①(人間	関係ほか)							
5	2 級勻	学習 対人技能	② (接遇	——— 知識ほか)							
6	2 級勻	学習 対人技能	③(話し	方ほか)							
7	2 級勻	級学習 対人技能 ④ (服装ほか)									
8	2 級勻	学習 実務技能	①(問題	———— 処理ほか)							
9	2 級学	学習 実務技能	②(環境	整備ほか)							
10	2 級学	学習 実務技能	③(金品	管理ほか)							
11	2 級勻	学習 実務技能	④ (金品	搬送ほか)							
12	2 級勻	学習 実務技能	⑤(社交	業務ほか)							
13	準 1 糸	及 基本言動〔	(入室ほ	か) 							
14	準 1 糸	及 基本言動 ②	②(企業通	— <del>———</del> 重携)							
15	準 1 糸	及 基本言動 ③	③(企業連	携)							
	4 =	評価項目/割部		<b>定羽神野の取りのつ</b>	次執	評	価 内 容				
評		課題 30 ·		演習課題の取り組み							
価 基 準		受業姿勢 30 9		出席状況・授業態度							
年  -		テストそ( 40 ' ・テスト(その他検定な		実技試験と期末試験(	·						
目標検 官・課外」 授業実 も予定・		ス接遇検定 11月			/ 00						

2年課程

科目	名	サービス接遇ⅡA					学期	前	期
担当	教員	髙野直人	科目区分専門	受業方法 演習	分類	必修	単位数		1
学習	目的	ホテル業界・ブライダ			を学習す	る			
授業	内容	ホテル業界・ブライダ	ル業界で必要な顧?	客に満足を与える行動	動をサー	 ビス接遇	の観点	から学ぶ	
学習	目標	ホテル業界・ブライダ		 ービス接遇の知識と彳	 行動基本	姿勢を理	解する	)	
使用テ	キスト	サービス接遇検定受験	 ガイド準1級級 サ	——— ·一ビス接遇検定受験	<u>ー</u> ガイド1	 I級 サー	 ビス接	—— 遇検定実	—— 問題集 1 - 2
週数				授業計画					
1	準1級	、接客応答							
2	準1級	、接客応答							
3	準1級	( 接客応答							
4	準1級	、接客対応							
5	準1級	、接客対応							
6	準 1 糸	級検定対策総仕上げ							
7	1級	サービススタッフの資質							
8	1級	専門知識(サービス知識	)						
9	1級	専門知識(従業知識)							
10	1級	一般知識(社会常識)							
11	1級	対人技能(人間関係ほか	)						
12	1級	対人技能(接遇知識ほか	)						
13	1級	実務技能 ①(問題処理に	まか) 						
14	1級	実務技能 ④(金品搬送局	まか) 						
15	1 級村	<b></b> 全定対策講義							
	4 :	評価項目/割合	演習課題の取り組み姿勢		価 内 容				
評		課 題 30 % 	出席状況・授業態度・言	言葉遣い					
価 基 準			実技試験と期末試験の総	 総合判定					
<del>+</del>		テストそ( 40 % ·テスト(その他検定など)はそれぞれ.	    20%以上とし、授業姿勢は30 <sup>c</sup>						
目標検 定・課外 授業実 施予定・		ス接遇検定 6月 検定目標1級							

科目		フラワーアレンジメン	ЬΠΔ					学期	———— 前	———— 期	
			Π	1:2: 4k -1 \ \ \ \	\rightarrow \frac{1}{2}	八米王	St. life				
担当			科目区分専門	授業方法	<u> </u>			単位数		1	
学習 ———		婚礼で必要な知識とし									<u>5</u> —
授業	内容	フラワーアレンジメン	トの歴史や基本的	内な技法を:	知りブライ?	ダルシー	ンでのア	レンジ	やブーク	<sup>-</sup> を製作 ———	
学習	目標	様々な花の種類に合っ	たアレンジができ	きるように	なる						
使用テ	キスト	オリジナルテキスト									
週数				授業	計画						
1	ファン	νデーションワークとミ <i>Ξ</i>	ニブーケ(生花)								
2	ファン	νデーションワークとミ <i>Ξ</i>	ニブーケ(生花)								
3	ラウン	<b>ノドアレンジ</b> (生花)									
4	ラウン	<b>ノドアレンジ</b> (生花)									
5	ラウン	<b>ッドアレンジ</b> (プリザ)									
6	ラウン	<b>ィドアレンジ</b> (プリザ)									
7	ワイ	マリング&テーピング コ	サージ作り(生花	<del>.</del> .)							
8	ワイ	マリング&テーピング コ	サージ作り(生花	<u>:</u> )							
9	ラウン	ッド花束・スパイラル( <u>⁵</u>	生花)								
10	ラウン	ッド花束・スパイラル( <i>⁵</i>	生花)								
11	ギフ	トアレンジ BOXフラワー	(生花)								
12	ギフ	トアレンジ BOXフラワー	(生花)								
13	キャン	ノドルフラワー(生花)									
14	キャン	ノドルフラワー(生花)									
15	パー-	ティーフラワー(生花)									
	ء د	評価項目/割合			<u></u> 評	一価 内 容					
評		果 題 30 %									
価 基 準		受業姿勢 30 %									
準 		テストそ( 40 % ·テスト(その他検定など)はそれぞれ	20%以上とに 培業次執け	:30%とする							
目標検定・課外		・ハ・、(マノビスだなこ)はてイレでイレ	<u></u>								
授業実施予定・											

2年課程

1 年

科目名 ブライダルビューティ IA 学期 前 担当教員 宮西 和孝 科目区分専門 授業方法 演習 分類 必修 単位数 1 学習目的 基本的テクニックを身を学習する 授業内容 道具の使い方について学ぶ 学習目標 ┃基本的テクニックを実際に体験し理解する 使用テキスト必要に応じてプリント配布 週数 授業計画 1 オリエンテーション 道具の確認 2 道具の使い方 ① アイロン 3 道具の使い方② ブラシ・ピン・ゴム 4 基本練習 ① ポニーテール 5 基本練習 ② ポンパドール 6 基本練習 ③ 編み込み 7 基本練習 ④ 付け毛 8 スタイル作り ① シニヨン 9 スタイル作り ② トップ 10 スタイル作り ③ サイド 11 スタイル作り ④ バック **12** ブライダルスタイル ① 13 ブライダルスタイル ② 14 ブライダルスタイル ③ 15 実技試験 評価項目/割合 評 価 内 容 1. 課題 40% 課題の提出、出来栄え 2. 授業姿勢 30 % 忘れ物の状態 受講態度 出席率 理解度 3. テストそ(30% 課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。 目標検 定•課外授業実 施予定•

2年課程

科目	名	ブライダルビューティ	I B					学期	後	期
担当	教員	高桑 裕美	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
学習	目的	メイクの基礎を学習す	る							
授業	内容	メイクの知識と技術を:	 学ぶ							
学習	目標	メイクの楽しさを実感	し、メイクの必要	更性を理解 <sup>-</sup>	する					
使用テ	キスト	プリント配布								
週数				————— 授業	計画					
1	メイク	7の基礎知識								
2	顔の途	<b>造形理論</b>								
3	アイこ	ブロウスタイリング								
4	ベース	スメーキャップ基本								
5	ベース	スメーキャップ応用								
6	ポイン	<b>ノトメーキャップの基本・</b>	·応用							
7	相モラ	デルでメーキャップ練習①	)ナチュラル							
8	相七二	デルでメーキャップ練習②	② ナチュラル							
9	相モラ	デルでメーキャップ練習③	③ キュート							
10	相モラ	デルでメーキャップ練習@	<b>シ</b> キュート							
11	相七二	デルでメーキャップ練習優	<b>シ</b> クール							
12	相モラ	デルでメーキャップ練習@	<b>シ</b> クール							
13	確認言	テスト								
14	イメ-	-ジメイク作り①								
15	イメ-	-ジメイク作り②								
	1 =	評価項目/割合			———— 評	価 内 容				
   評   価		* 題 30 %  受業姿勢 30 %								
評価基準		マ <del>ネタッ</del> 30 % 								
	課題	テスト(その他検定など)はそれぞれ2	20%以上とし、授業姿勢は	30%とする。						
目標検 定・課外 授業実 施予定・										

2年課程

員 的 容 標 ス	パワーポイン 付ける 企画提案をはし 30時間でマスク シテーションの	じめとする トの使い方 じめとする ター プレセ とは?	目区分 専門 伝達能力全般の から文章のまる 伝達能力全般の ブンテーション	とめ方、訴 の向上を目 ・+PowerPo 授業	」 的とする。 え方などプロ 標とする。			学期単位数		期 1 知識を身に	
的 容 標 スー・プレー・レー・ピー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー	企画提案をはし パワーポイン 付ける 企画提案をはし 30時間でマスク シテーションの	じめとする トの使い方 じめとする ター プレセ とは?	伝達能力全般のまたがら文章のまた から文章のまた 伝達能力全般の ジンテーション	A の向上を目 とめ方、訴 の向上を目 v+PowerPo 授業	N 的とする。 え方などプ 標とする。 int2016 (Wi	レゼンテ	ーション	<u> </u>			
容標・スト・プレー・レゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼ	パワーポイン 付ける 企画提案をはし 30時間でマスク シテーションの	トの使い方 じめとする ター プレセ とは?	から文章のまる	とめ方、訴 の向上を目 ・+PowerPo 授業	え方などプ 標とする。 int2016 (Wi			・ ンに必要 	な基本的	知識を身I	
谷 標 パープ プレー・プレー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー・ゼー	付ける 企画提案をはし 30時間でマスク シテーションの	じめとする ター プレt とは?	伝達能力全般の	の向上を目 ・+PowerPo 授第	標とする。 int2016 (Wi			ンに必要	な基本的	知識を身( 	
標・ストプレゼ	企画提案をはし30時間でマスクションと	ター プレt とは? の基本(パワ	<b>ヹンテーション</b>	√+PowerPo 授業	int2016 (Wi	ndows10	)対応)				
プレゼ	シテーションと	とは? D基本(パワ		授業		ndows10	)対応)				
プレゼ	·ンテーション <i>0</i>	の基本(パワ	<b>フーポイントの</b> :		<b>管計画</b>						
プレゼ	·ンテーション <i>0</i>	の基本(パワ	フーポイントの	基本)							
プレゼ			フーポイントの:	基本)							
	·ンテーション <i>0</i>	の基本(効り									
固人発			果的なプレゼン	テーション	資料作成 図	・グラフ	・アニメ	ーション	·/テキス	<b>h</b> )	
	表課題 🗅 テー	-マを考える	る(時間、目的	、聞き手)[	ጔ 素材を集≬	める(自	分の言い	たいこと	を裏付ける	る、聞き手	
固人発	表課題 パワー	ポイント制	作①								
固人発	表課題 パワー	ポイント制	作②								
2年生の実習報告会①(聴く、考える、質問する)											
2年生の実習報告会②(聴く、考える、質問する)											
固人発	表課題 発表										
ブルー	−プ発表課題□•	テーマを考	える(時間、目	目的、聞き手	- )□ 素材を	集める	(自分の言	言いたい	ことを裏付	けける、聞	
ブルー	・プ発表課題 パ	ワーポイン	ト制作①								
ブルー	・プ発表課題 パ	ワーポイン	ト制作②								
ブルー	・プ発表課題 発	表									
プレゼ	シテーションの	の事例・テン	ンプレート①								
プレゼ	<u></u> `ンテーション <i>0</i>	の事例・テン	<del></del> ップレート② ま	= とめ							
. =-	評価項目/割合		₩ ♣ ===== - 1	□ <del>                                     </del>							
	· · <del>-</del>							<del>-</del> \			
					態度、忘れ物お	よひ積極的	」な取組み原	<b>夏</b> )			
		日本 日本生の実習報告会会 日本生の実習報告会会 日本生の実題 発表 「ループ発表課題」、パープを表課題が、パープを表課題が、パープを表課題が、パープを表課題が、パープを表課題が、パープを表する。これでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーンのでは、アーンのでは、アーンのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーションのでは、アーンのでは、アーンのでは、アーンのでは、アーンのでは、アーンのでは、アーンのでは、アーンのでは、アーン	日人発表課題 パワーポイント制 2 年生の実習報告会① (聴く、ま 2 年生の実習報告会② (聴く、ま 3 人発表課題 発表 バループ発表課題 パワーポイン バループ発表課題 パワーポイン バループ発表課題 パワーポイン バループ発表課題 発表 プレゼンテーションの事例・テン アレゼンテーションの事例・テン 評価項目/割合 1.課 題 40 % 2.授業姿勢 30 % 3.テストぞ(30 %	名 年生の実習報告会② (聴く、考える、質問する) 人発表課題 発表	日人発表課題 パワーポイント制作②  「年生の実習報告会① (聴く、考える、質問する)  「中生の実習報告会② (聴く、考える、質問する)  「ループ発表課題 発表  「ループ発表課題 パワーポイント制作①  「ループ発表課題 パワーポイント制作②  「ループ発表課題 パワーポイント制作②  「ループ発表課題 発表  「レゼンテーションの事例・テンプレート①  「レゼンテーションの事例・テンプレート② まとめ  「評価項目/割合  「課題 40% ・授業内課題の提出回宿題課題の記し、授業会多 30% ・授業への参加状況 (出席や受講	個人発表課題 パワーポイント制作②  2 年生の実習報告会① (聴く、考える、質問する)  3 人発表課題 発表  ボループ発表課題 プワーポイント制作①  ボループ発表課題 パワーポイント制作②  ボループ発表課題 パワーポイント制作②  ボループ発表課題 パワーポイント制作②  ボループ発表課題 発表  ボレゼンテーションの事例・テンプレート①  ボレゼンテーションの事例・テンプレート② まとめ  新価項目/制合  1. 課 題 40 % ・授業内課題の提出回宿題課題の提出(期限まで2. 授業姿勢 30 % ・授業への参加状況(出席や受講態度、忘れ物お3. テストぞ(30 % ・規業試験結果口課題の達成度	祖人発表課題 パワーポイント制作②  中年の実習報告会① (聴く、考える、質問する)  中年の実習報告会② (聴く、考える、質問する)  和人発表課題 発表  プループ発表課題 パワーポイント制作①  プループ発表課題 パワーポイント制作①  プループ発表課題 パワーポイント制作②  プループ発表課題 パワーポイント制作②  プレゼンテーションの事例・テンプレート①  プレゼンテーションの事例・テンプレート② まとめ  評価項目/割合  1. 課 題 40 % ・授業内課題の提出回宿題課題の提出(期限までの提出状況 2. 授業姿勢 30 % ・規業への参加状況 (出席や受講態度、忘れ物および積極的 3. テストぞ(30 % ・別来試験結果口課題の達成度	1人発表課題 パワーポイント制作②   1年生の実習報告会① (聴く、考える、質問する)   1年生の実習報告会② (聴く、考える、質問する)   1 日本   1年生の実習報告会② (聴く、考える、質問する)   1 日本   1年   1年   1年   1年   1年   1年   1年   1	3人発表課題 パワーポイント制作②	1	

2年課程

			小 ) ル・フ				2十床住	•			<del>+</del>	
科目	名	ICT活用ⅡA							学期	前	期	
担当教	<b>数員</b>	 南 貴文	į	科目区分 専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1	
学習目				 る伝達能力全般(			<u>I</u>	I	1			
授業区		パワーポイン		方から文章のま			<b>ノゼンテ</b>	ーション	ノに必要な	基本的	知識を身に	
学習目	目標	<u>付ける</u> 企画提案をは	じめとする	 る伝達能力全般(	 の向上を目	 標とする。						
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	キスト	30時間でマス	 .ター プレ		+PowerPo	int2016 (Wi	ndows10	 )対応)				
週数		<u> </u>				· <b>注計画</b>						
1	1, (	3 分間のプレゼ	ンテーショ	ン								
2	個人1	<b>企画提案書制作</b>	:①ロ・テー・	マを考える(時間	引、目的、聞	]き手) □ 素	材を集め	る(自分	か言いた	いことを	裏付ける、	
3	個人1	<b>企画提案書制作</b>	<b>②</b>									
4	個人1	全画提案書 発表	表									
5	グル-	-プ発表課題 /	パワーポイ	ント制作① 口 ラ	テーマを考え	.る(時間、目	目的、聞	き手) 口・	素材を集	める(自	分の言いた	
6	グルー	-プ発表課題 /	パワーポイ	 ント制作②								
7	グルー	ブループ発表課題 発表										
8	グル-	- プ企画提案書		テーマを考える	(時間、目的		♪ 素材を	集める	(自分の言	いたいこ	とを裏付け	
9	グル-	- プ企画提案書	制作②									
10	グルー	- プ企画提案書	制作③									
11	グルー	- プ企画提案書	発表									
12	1, (	3 分間のプレゼ	゚ンテーショ	ン								
13	プレ1	ゼンテーション	の事例・デ	· ンプレート①								
14	プレも	 ヹンテーション	の事例・テ	· ンプレート②、	まとめ							
15	オリシ	ジナルチラシ、	DM作成									
		評価項目/割合		ا مالد وسا	<b></b>		価 内 容					
評		課題 40 9		・授業内課題の提出								
価基 +		受業姿勢 30 9		・授業への参加状況		態度、忘れ物お。	よび積極的	な取組み度	<b>更</b> )			
準 -		テストそ(309		・期末試験結果①課 20%以上とし、授業姿勢に								
目標検	<b></b>	, ^ (ての他使正な	こりょてれぞれ2	.v70以上とし、	ჯა∪%0⊂9 <b>ე</b> ი							
定·課外 授業実 も予定・												

2年課程

科目	名	ICT演習 I A						学期	前	期		
担当	教員	南 貴文	科目区分専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1		
学習[	目的	企業においてITを利活	用する実践的な知	口識・スキル	ルを学習する	る。						
授業区	内容	企業において必須の技	術である表計算と	ノフト、エク	クセルを用し	ハて実践	的な資料	を作成	する技術を	を身につける		
学習[		エクセルを使用して、										
使用テ	キスト	全字科:30時間でマスク 活用3級 公式テキスト	&問題集 Microsof	t Excel 20	<del>ティンター:</del> 13対応 日	アンヨナ 商PC検定	ルを除く 試験 知識	产科: E 戦科目	1酉PU検定記 3級 公式試	(験 アータ 験問題集		
週数	<u> </u>	<u>(文書作成・データ活Ⅱ</u>	1・フレヤン省料作		計画							
1	第1章	Excelの基礎知識										
2	第2章	Excel入門										
3	第3章	ワークシートの活用( 1	)									
4	第3章	ワークシートの活用( 1	)									
5	第3章	ワークシートの活用( 1	)									
6	第4章	ワークシートの活用(2	) セルの絶対参照	Ħ								
7	第4章	章ワークシートの活用(2) セルの絶対参照										
8	第4章	ワークシートの活用(2	) 端数処理									
9	第4章	ワークシートの活用(2	) 端数処理									
10	第4章	ワークシートの活用(2	) IF関数									
11	第4章	ワークシートの活用(2	) IF関数									
12	第5章	グラフ(1)										
13	第5章	グラフ(2)複合グラフ	,									
14	第7章	きデータベース オートフ	ィルタ・並べ替え									
15	第7章	<b>宣データベース オート</b> フ	'ィルタ・並べ替え									
		評価項目/割合	<b>万 極 坐 」 - 1、 1 - 7 - 50 - 5 - 1</b>	ᄝᄔᆝᄼᆊᇚᄜᄝᆇᄼ		· 価 内 容						
評		果 題 40 %	各授業における課題技				/uh <del></del> 1. Jr	± 1000				
基準		受業姿勢 30 %	授業への積極参加 ク					<b>月</b>				
华		テストそ( 30 % テスト(その他検定など)はそれぞれ	検定を受験する学科に   20%以上とし、授業姿勢は		験しない字科は	、アスト結身	<del>E</del>					
目標検 定・課外	. P.	. 2		<b> ∀</b> 0								
授業実施予定・												

科目	名	ICT演習	I B						学期	後		期
担当	教員	南 貴文		科目区分専門	授業方法 演習		分類	必修	単位数		1	
学習	目的	企業にお	いてITを利活	用する実践的な	知識・スキルを学	習する	0					
授業	内容	企業にお	いて必須の技	術である表計算	ソフト、エクセルを	を用い	て実践	的な資料	を作成	する技	術を身	
学習	目標				ラフ作成・簡単な							
使用テ	キスト	活用 3級	30時間 (マスス)	、— LXGETZOTO(W &問題集 Microso 3. プルガン姿料を	oft Excel 2013対応	日南		<del>レと味く。</del> 試験 知識				
週数					授業計画							
1	日商F	PC検定対	対策									
2	日商F	PC検定対	対策									
3	日商F	PC検定対	対策									
4	日商F	PC検定対	対策									
5	日商F	PC検定対	対策									
6	日商F	PC検定対	対策									
7	日商F	PC検定対	対策									
8	日商F	PC検定対	対策									
9	日商F	PC検定対	対策									
10	日商F	PC検定対	対策									
11	日商F	PC検定対	対策									
12	日商F	PC検定対	対策									
13	日商F	PC検定対	対策									
14	日商F	PC検定対	対策									
15	日商F	PC検定対	対策									
			目/割合				価 内 容					
評		課 題	40 %		題(入力、文書作成の作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						 / 問송	
価基準		受業姿勢		問、発言など自らエ	夫し積極的に授業に参加							
準		テストそ(		確認小テスト結果期								
目標検 定・課外	<b>林</b> 思	・テスト(その11	U快走なと川まてれてれ	20%以上とし、授業姿勢に	330%0 € 9 ⊗ 0							
授業実												

ホテル・ブライダル 学科 1 年

科目		異文化コ	ミュニ	ケーション	ン I A						学期	———— 前	—————————————————————————————————————	
担当		1	公島 綾-		科目区分	 専門	授業方法	演習		必修	単位数		1	
学習[					ļ			<u> ´´`゚゚</u> 異文化の理解	1	1			•	
授業[		インター	ナショ	ナルビジス	ネス学科と			入れ、グルー			ノを通し、	多様な文	て化の理解や	
学習				ョン方法? ケーショ`		1識を理解	 ZI. 言語や	 文化の異なる	人々とコ	ミュニケー	ーションフ	が図れるよ	こったなる	
使用デ		プリント				映と生力		<u></u>				<u> </u>		
週数	-1 //1							 業計画						
	<del></del>	ニンテーシ	¬ ` ,				12.	жи ш						
1	異文化	化コミュニ	-ケーシ		ケーション	ンや異文化	:理解につい <sup>-</sup>	て学ぶ						
2	パラ	.ニケーシ 言語につい やアジア映	いて		語の違いる	を比較								
3		)言語と文 <sup>,</sup> ターナショ			∤の学生のヒ	出身国の言	語を調べる							
4	他国の言語と文化について学ぶ② インターナショナルビジネス学科の学生の出身国の言語を調べる 異文化シミュレーション①													
5	異文化シミュレーション① バーンガ、バファバファのゲームを通し、異文化トレーニングを行う													
6		ストラカ、ハラテハラテのテースを通じ、異文化ドレーニングを行う 異文化シミュレーション② エコトノス、アルバトロスのシミュレーションを通し、異文化トレーニングを行う												
7		ミュニケ- ぞれの国の			謝り方につ	ついて								
8		コミュニ <sup>ん</sup> アイコン			・ャーについ	ハて								
9	イン	文化理解 ターナショ を考える		ジネス学科	∤の学生のヒ	出身国につ	いて調べ、	まとめる						
10	イン	)文化理解 ターナショ を考える		ジネス学科	∤の学生のヒ	出身国につ	いて調べ、	まとめる						
11					ナルビジネ . る。質疑ル		合同)							
12	イン	)文化理解 ターナショ ]を考える		ジネス学科	∤の学生のヒ	出身国の結	告婚式につい	て調べる、まと	≐める					
13	他国の調べる	文化理解 た内容をそ	(インタ fの国の <sup>s</sup>	ーナショ <sup>-</sup> 学生に伝え	ナルビジネ . る。質疑バ	ス学科と な答。	合同)							
14	模擬結インタ		ナルビジ	ネス学科(	の学生に向	けて結婚	式をおこなう							
15	模擬紀まとめ	5婚式の振 )	り返り											
			頁目/割合		- ··· -	·			評価内容					
評		果題	30 %		授業内の課題		の	白奴か のクニュ	の短拳にやっ	上的小 ②+▽→	*ホーウノ『	明夫 ノア	哲問 発言かじ	
 価 基 準	価 │ 2. 授業姿勢 30 % │ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
準		これその					各自実施レポー 	<u> </u>						
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ		テスト(その他を	食定など)は-	それぞれ20%以	以上とし、授業姿	勢は30%とす	<b>&amp;</b> .							

科目	名ホ	テルブラ	ライダ	レマー	ケティ	γング I	В								学期		後	ļ	朝
担当	教員	髙野	野 直	人	科	目区分	専門	括	受業方法	去	寅習		分類	必修	単位数	\$		1	
学習	目的 外	国人旅	行者の	)一人	ひとり	りにあ	った的	確な	3対応。	と提	案から	「顧	客創造	」を実現	できる	る人材	オの育	成を	目的と
授業	内容 ワ	一クを追	通して行	 睍光業	のマ-	ーケティ	ィングの	D意	味や種	類、	考え方を	を学	ぶ						
学習	目標マ	ーケテ	ィング	ブに関	する月	用語や	概念を	身に	に付け、	、新	たな観	光プ	゚ランの	創出を行	īЭ				
使用テ	キストオ	リジナ	ルテニ	テスト															
週数									授	業計	†画								
1	マーケラ	・ィング	とは鼠	動の	種類 <i>や</i> 	効果に	ついて												
2	観光業に	こおける	マーケ	「ティ゛	ングと	: は何か	<b>\</b>												
3	観光業に	おける	SWC	)T分ᅒ	折														
4	観光業に	こおける	SWC	) T 分	折														
5	観光業に	こおける	swo	)T分ᅒ	折														
6	観光業に	こおける	STF	·マー	ケティ	ング													
7	観光業に	こおける	4 P [	<b>【観光</b> :	地や観	光コー	-ス、イ	(べ)	ント)										
8	観光業に	こおける	4 C [	∄観光:	地や観	光コー	-ス、イ	(べ:	ント)										
9	観光業を	マーケ	ティン		理論に	基づき	· 分析												
10	外国人勧	見光客に	ついて		国の国	の特徴	なや観光	<b></b> <b>.</b> 動	句につい	ハて	□食文化	比、生	生活習慣	、言語、	国民性	:、経	済、宗	₹教)	
11	外国人観	見光客に	ついて		国の国	の特徴	か観光	<b>ć動</b> [	句につい	ハて	□食文化	比、刍	生活習慣	、言語、	国民性	三、経	済、宗	(教)	
12	富山県を	き訪れる	外国丿	、に好き	まれる	観光フ	゚゚ラン作	<b>F</b> 成											
13	イノベー	-ション	とは																
14	インバウ	フンド対	∜策を≉	きえたね	観光プ	<sup>ያ</sup> ランの	)作成と	: = -	-ス分析	折									
15	観光プラ	ランのプ	『レゼン	ァテー・	ション	,													
		評価項目				ulte :		_				評	価 内 容						
評	1. 課		30 %				題の取組 <u>刻がない</u>		2)受講マ	ナー	が良好かの	<u>③ヶ÷</u>	ラスの揺	業に協力的フ	か、④拇	業中に	こ良く問	き.	メモ. 質
価 基 準		業姿勢 			問、	、発言な	ど自らエ	上夫し	(積極的に	こ授美	業に参加し			れ物をした					- \ A
準   		<b>ストそ(</b> スト(その他		) はそれ-			総括記録 授業姿勢(			レポー	- <b>-</b>								
目標検定・課外 授業実 施予定・	without //		عاد عدد د	Ç 40 I				. 2.20 /	_, 00										

科目	名	ホテルブライ	イダルマーク	rティング I	ΙA					学期	前	期
担当	教員	高野	直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1
学習	目的	外国人旅行	<b>テ者の一人ひ</b>	トとりにあ	った的研	権な対応と	· 提案から「	顧客創造	」を実現	できる	人材の育品	成を目的と <sup>つ</sup>
授業	内容	ワークを通	通して観光マ	 !ーケティ	ングの記	意味や種類	、考え方を	<b>学ぶ</b>				
学習	目標	マーケティ	,ングに関す	 る用語や	概念を身	身に付け、	新たな観光	プランの	創出を行	う		
使用テ	キスト	オリジナル	ー ノテキスト									
週数						授業	計画					
1	富山県	県の観光地の	)再体験									
2	富山県	<b>県の観光地の</b>	再体験									
3		<b>県とバンクー</b> ノ ・STP・4P・4	バーの違いに 4C)	ついて								
4		₹とバンクーィ アイデア・方氵	バーの違いに 法)	ついて								
5			バーの違いに 語・国民性・紹									
6			バーの違いに 統・行事・宿泊		S活用)							
			バーの違いに i流・キーマン									
8	富山県	<b>剥の観光に関</b>	する課題と分									
9	1年前	期に作成した	≿観光プランの	)再構築								
10	swo	T分析チェック	ク									
11	商品∙	サービス差別	化									
12	観光ス	プランを英語で	<b>でプレゼンテ</b> ー	ーション								
13	観光フ	プランを英語で	<b>でプレゼンテ</b> ー	ーション								
14	プレゼ	ジンテーション	発表									
15	プレゼ	ジンテーション	振返り									
		評価項目/		125 AHr -T		7.	Ē	評価内容				
評			0 %	授業内の調査を選択しています。		み  か ②受講マナ <sup>.</sup>		クラスの授業	業に協力的が	い、④授訓	業中に良く聞き	き、メモ、質
価基準		授業姿勢 30 		問、発言な	など自らエ:	夫し積極的に持	受業に参加して					
华		テストそ( 40 ·テスト(その他検)	<b>0 %</b>  定など)はそれぞれ			、各自実施レ <del>7</del>  t30%とする。	·_ L					
目標検 定・課外 授業実 施予定・	_											

課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。

AFT色彩検定3級強行状況により変更する場合があります。

目標検 定・課外 授業実

施予定•

2年課程

1 年

科目名 色彩 I B 学期 後 期 担当教員 | 畠山 博子 科目区分専門 授業方法 演習 分類 必修 単位数 1 学習目的基本的な色彩理論を学習する 授業内容 | 求められるカラーコーディネートとはどういうものかを学ぶ 学習目標 │色彩とは何か、応用的な理解ができ、実践に活かせる力をつける 使用テキスト 色彩検定3級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集 週数 授業計画 1 PCCSの理解と色彩調和 2 PCCSの理解と色彩調和 3 色彩心理 4 色彩心理 5 配色イメージ 6 配色イメージ 7 ファッションと色彩 8 ファッションと色彩 9 インテリアと色彩 10 インテリアと色彩 11 慣用色名 12 慣用色名 13 検定に向けての学習 14 検定に向けての学習 15 検定に向けての学習 評価項目/割合 評価内容 1. 課題 50% レポート、小テスト結果等を評価する 2. 授業姿勢 30 % 授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する 期末テスト結果を評価する 3. テストそ( 20 % 課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。 目標検 定·課外 授業実 AFT色彩検定3級強行状況により変更する場合があります。 施予定•

					1									
科目	名	ウエディングスビュー	-ティフル I A 	Ţ Ţ		学期	前	期						
担当	教員	髙野 直人	科目区分専門	授業方法演習	覆修分類必修	単位数		1						
学習	目的	ウエディング業界で必	要な婚礼の専門	別識と心得を学習す	გ									
授業	内容	ウエディング業界で働	くために必要な	メンタルパワーや婚	礼の歴史、慣習を	学ぶ								
学習	目標	ウエディングの現場で	必要な専門知識	战やマナーを理解する										
使用テ	キスト	ウエディングスビュー	·ティフルAコー	-ス~Dコース										
週数			授業計画			事前・事後の学	習							
1	第1章	ビジネスプランの展開	挙式											
2	第2章	ビジネスプランの展開	挙式											
3	第2章	メンタルパワー 目標設	定の大切さ											
4	第2章	メンタルパワー 成功の	可能性を広げる											
5	第3章	結婚式の専門的知識 プランナーの役割												
6	第3章	結婚式の専門的知識												
7	第4章	コミュニケーションスコ	ドルの向上											
8	第4章	効果的な話し方												
9	第5章	結婚式の慣習												
10	第5章	まとめ レポート												
11	第6章	本当の自分 自己分析 🍍	肯定的な性質と否	定的な性質										
12	第6章	本当の自分 自己分析 化	也者から見た自分											
13	第7章	テーブルトップとテース	ブルウェア											
14	第8章	テーブルトップとテース	ブルウェア											
15	まとめ	)												
	- = = = =	評価項目/割合	ましめ 1 4 1 ===	BA	評 価 内 容									
評	1. 課		まとめ レポート 課											
価基準		業姿勢 30 %	出席状況・授業態度	・ 言条・ノかい										
準		ストその  20 % テスト(その他検定など)はそれぞれ	理解度確認テスト 20%以上とし、授業姿勢(	<b>は30%とする</b> 。										
日検課授実予その		    忍定ウエディングスペシャリス												

						1	ı
科目	名	ウエディングスビュ-	ーティフル I B			学期	後期
担当	教員	髙野 直人	科目区分専門	授業方法 演習	覆修分類 必修	単位数	1
学習	目的	ウエディング業界で劇	必要な婚礼の専門	門知識と心得を学習す	する		
授業	内容	ウエディング業界で値	動くために必要な	なメンタルパワーやタ	<b>香礼の歴史</b> ,慣習を	· 学ぶ	
学習	目標	<u>ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー</u>	 で必要な専門知詞	 哉やマナーを理解する	 3		
使用テ	キスト	 ウエディングスビュ-	 −ティフルAコ−	ース~Dコース			
週数			授業計画			 事前・事後の学	- - 김
1	8章 為	<b>学式</b>					
2	8章 李	<b>学式</b>					
	0. <del>25</del>	ᅷᄹᅷᇰᇫᄓ					
3	ᄬᄛᆥ	<b>結婚式の演出</b>					
4	10章	結婚式の演出					
5	10章	結婚式の伝統や慣習					
6	11音	結婚式の伝統や慣習					
7	11章	マネジメントスキルの向	可上				
8	12章	マネジメントスキルの向	<b></b>				
9	12章	ビジネスフォーム					
10	10===	<b></b>	- `				
10	13早	ウエディングファッショ					
11	14章	ウエディングファッショ	ョン				
12	14章	披露宴					
13	15音	披露宴					
13	107	<b>拟路安</b>					
14	15章	招待状					
15	まと	ħ					
		評価項目/割合	T		評 価 内 容		
	1. 誤	果題 50 %	まとめ レポート 調	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	яі  ш ґў <b>द</b>		
評価		受業姿勢 30 %	出席状況・授業態度	・言葉づかい			
評価基準			理解度確認テスト				
		·テスト(その他検定など)はそれぞれ		は30%とする。			
検定・							
成課授実予 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )							
美施  予定							
その 曲							

ホテル・ブライダル 学科 1 年

科目	名	NIB I A						学期	前	期
担当	<b>教員</b>	長谷川 万葉 木村 聡 黒田 哲也	科目区分 一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数		1
学習[	目的	メディアに対する知識理解を深る ループ討議力や社会性、創造性	め、情報を読み取る は 国際性を身につい		社会の課題を学ん	ぶとともに、	読解力、思	考力、プレ	ゼンテー	ション能力、グ
授業区	内容	新聞記事からテーマを抽出し、			 えを深め、文章にa	まとめて発え	 表する			
学習[	———— 目標	自分の考えを整理し、わかりやし、問題発見、解決ができる。	すく伝えることが出来	そる。言葉や文章	で簡潔に要点を伝	ええることが	できる。資料	4を調べた	り人の意	見を聞いたり
使用テ	キスト	新聞を教材として使用								
週数		<u> </u>			 計画					
1	メディア	論①メディアの特性を学び活用する								
2	メテ゛ィア論	②新聞の読み方。グループスクラッ	ップ							
3	メディア論	③文章の要約、見出し付けで読解	カアップ							
4	メディア論	(④文章カアップ、小論文の書き方								
5	ご当地村	<b>倹定に挑戦</b>								
6	地域の記	課題を学び 意見交換、発表①								
7	地域の記	課題を学び 意見交換、発表②								
8	地域の詞	課題を学び 意見交換、発表③								
9	地域の記	課題を学び 意見交換、発表④								
10	ミニ新聞	引を作ろう								
11	18歳選	挙権を考える								
12	若者の	投票率を考える								
13	1分間ス	・ピーチ、ミニディベート								
14	グルーフ	プディスカッション								
15	グルーフ	プ単位によるプレゼンテーション								
		評価項目/割合	提出物		評	価 内 容				
評	1. 課		出席率・積極的なコミュニ	ケーションが出来る。						
評 価 基 準	2. 授	業姿勢 30 %	発表							
準 		ストその他 40%								
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他		スト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、 部署との調整により授業内容が前後するこ								

ホテル・ブライダル 学科 2 年

科目	名	NIB II A							学期	前	期
担当教	<b></b>	長谷川 万葉	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数		1
学習目	目的	新聞を通し、地域の知識を学ぶ	とともに、読	解力、思考	· 力、プレゼンテ	ーション能力、グ	゛ループ討詞	義力や社会性	. 創造性	、国際性を	 身につける。
授業区	内容	新聞記事よりテーマを抽出し、書	かれている	。 内容と自分	うの考えとあわ	せ、文章を作成し	 ,、発表する	3			
学習目		自分の考えを整理し、わかりやす し、問題発見、解決ができる。	すく伝えるこ	とが出来る	。言葉や文章で	で簡潔に要点を伝	えることか	「できる。資料	を調べた	:り人の意見	を聞いたり
使用テ		新聞を教材として使用									
週数						十画					
1	メテ゛ィア論	① 読解力									
2	メテ゛ィア論	② コミュニケーションカ									
3	メディア論	③ プレゼンテーションの仕方、	文章の書きる	方							
4	地域の記	果題解決策を考える①									
5	地域の記	果題解決策を考える②									
6	地域の記	果題解決策を考える③									
7	地域の記	果題解決策を考える④									
8	地域の記	果題解決策を考える⑤									
9	グルーフ	プディスカッション									
10	グルーフ	プディスカッション									
11	グルーフ	プディスカッション									
12	グルーフ	プディスカッション									
13	プレゼン	ァテーション									
14	プレゼン	ァテーション									
15	プレゼン	ァテーション									
	 1 <del>5</del> ⊞	評価項目/割合	提出物				価 内 容				
<u>評</u>	1. 課		出席率•積極的	りなコミュニケー	ションが出来る。						
評 価 基 準		業姿勢 30 %	発表								
準		ストその他 40 % スト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、									
目標検定・ 課外授業 実施予定・		スト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、 部署との調整により授業内容が前後するこ		<b>いこ す </b>							
実施予定・ その他	12-4 [6]										

1

		T	7(7)70-	ノフイダル	<b>于</b> 174						2				
科目	名	表現力ⅡA				学期	後	期							
担当	教員	長谷川 万葉		科目区分	専門	授業方法	演習	分類		単位数		1			
学習	目的	学習を通して	、相手に伝わる君	- 長現力を養	· きう。人前で	で堂々と発表	できるよ <b>う</b> にな	る。人と協	。 協力して創 <sup>ん</sup>	<u>.</u> 作を行う	0				
授業			演劇、といった様々	な表現を	楽しく学ぶ。	、ストレッチ、四	<b>呼吸、滑舌、発</b> 声	等、基礎が	いら実践的に	こ学習し	、最終的には	よグループで創			
学習			明るい表情、正し									くる。他者との			
			コミュニケーション前					と発表でき	さるよ <b>つ</b> な素	地をつく	<u>ි</u>				
世用ア  - 週数	<u> </u>	14 ソンテルエ	キスト、楽譜等(哲	未り谷に	-ロハゼ (	、週 <b>且</b> 配巾。 ———— 授業									
四奴						技未	可用								
1	イントロ	□ダクション~自	自己紹介、授業内容	<b>『の説明</b> 。											
2	シアタ・	ーゲームとコミ	ュニケーショントレー	ーニング											
3			あり、既成のスタイク	ルやテクニ	ックのない	コンテンポラリ	ーダンスを学ぶ	、言葉のい	いらない表現	見の世界、	、体を使った	コミュニケーショ			
4		_	あり、既成のスタイク	ルやテクニ	ックのない	コンテンポラリ	ーダンスを学ぶ	、言葉のい	いらない表現	見の世界、	、体を使った	コミュニケーショ			
5			あり、既成のスタイ	ルやテクニ	ックのない	コンテンポラリ	ーダンスを学ぶ	、言葉のい	いらない表現	見の世界、	、体を使った	コミュニケーショ			
6	演劇① 演劇で		(即興演劇)やシア	<i>'</i> ターゲー <i>L</i>	△を体験する	る。相手に伝ね	つる表現を学ぶ	0							
7		演劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇)やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。 演劇② 演劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇)やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。													
8	中間発	中間発表													
9	ソング 歌と音		の表現を学ぶ。												
10	創作① 演劇や	) Pミュージカルの	)ワンシーンを実際	に創作し演	じてみる。										
11	創作② 演劇や	•	)ワンシーンを実際	に創作し演	じてみる。										
12	創作③ 演劇や		)ワンシーンを実際	に創作し演	じてみる。										
13	創作④ 演劇や	) シミュージカル <i>の</i>	)ワンシーンを実際	に創作し演	じてみる。										
14	グルー	-プ発表													
15	発表														
		評価項目	/割合				Ē	評価 内容							
評	1. 詪	果 題	30 %			り組み、課題提出									
評価 基準	2. 持	受業姿勢	30 %		リ ②挨拶・受 から評価する		きに挑戦する姿勢	④授業への積	 責極的、協力的	内な参加	⑤忘れ物がな	いか			
準	個人発表、グループ発表等。発表の出来、そこに至るまでの過程、取り組み姿勢を総合的に判断する。														
	課題・	テスト(その他検定な	ど)はそれぞれ20%以上。	とし、授業姿勢に	は30%とする。										
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ の他	授業の注	<b>進捗度・理解度等</b> に	こより、授業実施順番、	内容を変更す	「る場合あり。										

科目	名	キャリア支援 I A						学期	後	期
担当	教員	髙野 直人	科目区分一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数		1
学習	目的	就職活動で早期内定を獲得	できるよう、自己分析	折や企業研究	などの準備をす	すめる		•		
授業	内容	就職に向けて、必要な準備を	段階的に進めていく。							
学習	目標	1年次の終わりまでに、自己	己分析・企業研究を完	成させ、2年	次からの説明会	参加や企	全業訪問に係	#える		
使用テ	キスト									
週数				授業	計画					
1	インタ-	-ンシップとは								
2	インタ-	-ンシップの課題と種類								
3	自発的	なインターンシップ								
4	「働く」)	意味を考える								
5	「働く」,	意味を考える								
6	仕事の	要素								
7	社会人	基礎力								
8	社会人	基礎力								
9	業界研	究								
10	業界研	究								
11	業界研	究								
12	履歴書	作成								
13	履歴書	作成								
14	エントリ	一対策								
15	エントリ	一対策								
	4	評価項目/割合	実習先からの評価を	もとに算出	評	価 内	容			
評		課題 70%	出席率などから算出							
価 基		授業姿勢 30 %								
準		テストそ 0 % 題·テスト(その他検定など	 ご) はそれぞれ2006に	ルトとし 増進	<b>進姿勢け30%と</b>	する。				
目標検	нл		2, 13, 6,0 6,000,000			, <b></b> 0				
定・課 外授業										

科目	名	キャリア支援 II A							学期	前	期
担当	<b>教員</b>	髙野 直人	科目区分一般	授業	方法	演習	分類	必修	単位数	1	
学習	目的	就職活動で早期内定を獲得	できるよう、自	己分析や企業	業研究な	などの準備をす	すめる		!		
授業	<b>内容</b>	就職に向けて、必要な準備を	段階的に進めて	いく。							
学習	目標	1年次の終わりまでに、自己	己分析・企業研究	究を完成させ	上、2年	欠からの説明会	会参加や企	と業訪問に値	<b>備える</b>		
使用テ <del>-</del>	キスト										
週数					授業	計画					
1	ビジネ	スマナー(会社訪問)									
2	ビジネ	スマナー(会社訪問)									
3	面接指	導									
4	面接指	導									
5	面接指	導									
6	面接指	導									
7	面接指	導									
8	キャリ	アについて									
	ビジネ! 会話	スとコミュニケーション									
	ビジネ: クレー.	スとコミュニケーション ム処理									
	ビジネ <i>!</i> 会議	スとコミュニケーション									
	ビジネ! 電話応	スとコミュニケーション 対									
	ビジネ: 電話応	スとコミュニケーション 対									
14	実践と ビジネ:	ビジネスツール ス文書									
15	実践とビジネジ	ビジネスツール ス文書									
	1 =	評価項目/割合	実習先からの評価	うをもとに算出			一価 内 容				
評			出席率などから算	[出							
評価基準		受業姿勢 30 % 									
<del>                                     </del>		·ストその 0 % <sub>テスト</sub> (その他検定など)はそれぞれ20%」	 	0%とする。							
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ											

				ノフイダル 与	-1-						'	牛			
科目名	i	データマーケ	ティング I A							学期	前	期			
担当教員		清水 大樹		科目区分 -	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数		1			
学習目的	5		グの基本的な理 能と観点を演習								ティングを進	める上で必要なデータの]	取り扱いに関		
————授業内容	<del></del>		の分析や活用方												
学習目標	<u> </u>	マーケティン	グの基礎知識を	習得し、専門	用語力	····································	· る。基本的手	法や技	 法を、具体的	内事例に当	 当て嵌めて考	えることができる。			
———— 使用テキス	٠,	データマーケ	・ター養成講座 ジャラ	—————— 初級編											
週数								<b>美計画</b>							
1	·講座の ・講座の ・用語の	り目的とゴール	構の心構えについ レ(販売業を機軸 ∶は		学ぶ)										
2	・ビック・ビック	データとは ブデータとは ブデータの利用 業を取り巻く環	月・背景・活用 環境の変化												
3	・データ	ヌ活用のステッ ヌの種類(自社	tデータ・公的デ ≯取れるか?デー												
4	・データ	エクセルハンズオン① グラフの作成 ・データマーケティングに必要なEXCEL操作(グラフ作成) ・グラフの種類とそれぞれの使い方を知る ・〈PW〉ウレコンの表を選びグラフが何を示しているかをパートナーに説明する。 実習 ① ・〈ワーク&GW〉ウレコン、ドルフィンアイを使用する。													
5	・〈ワードルフィ	・〈ワーク&GW〉ウレコン、ドルフィンアイを使用する。 ドルフィンアイから、データをダウンロードする。 折れ線グラフを作成し、その折れ線グラフから読み取れることをグループで協議、共有して全体に発表する													
6	・散布図	折れ線グラフを作成し、その折れ線グラフから読み取れることをグループで協議、共有して全体に発表する エクセルハンズオン② 散布図と相関 ・散布図の作り方 ・相関係数の意味 ・相関と因果 ・〈ワーク〉ドルフィンアイからダウンロードしたデータで相関係数を出して、2つの事項に相関があるか判断する													
7	·利用和 · 問題角				ーミン	<b>ング</b> )									
8	・データ・小売る	をベースに講座	いろな業界を紹 ☑が進行している (宿題)の説明		業界で	でもデータ	活用がこれか	らのマー	-ケティング	の基礎にな	なることを知	る。			
9			か ・POSデータ 方法と準備	分析の重要性		〈ワーク〉	ロコミサイト	とPOSデ	ータ						
10	・POSデ	ータの比較 一から見える	こと① サンプルからど0	D数字に注目す	<sup>-</sup> るか	?									
11	- (PW)	ータから見え	ること② 7から何が読み取	れるか?											
12	・事前に	レドワークの発 に課題として与 発表する。		のドラッグス	トアヤ	<b>ウスーパー</b>	の調査(どん	なものか	うっている	か?どんな	な売り場構成	をしているか?競合店舗は	はあるか?な		
13				ラフ作り、売	れ行き	きのよいカ	テゴリはなに	かを見て	ける。グル	一プ内で協	協議・共有し	て、そのカテゴリを見つけ	けたポイントや		
14			 -タを分析して売	り場に何を置	いたら	 らよいかを	選定し、全体	に発表す	- る。他グル	ープの差を	を見つけ、選	定方法や方針の違いについ	ヽてディスカッ		
15		サンプルデー を行なう。 		り場に何を置	いたら	らよいかを	選定し、全体	に発表す	<sup>-</sup> る。他グル	ープの差を	を見つけ、選	定方法や方針の違いについ	<u>-</u> \てディスカッ		
	1. 課	評価項目/領	割合 30 %	ワークシート等	の状況	兄を評価する	0		評価	内容					
	2. 授		30 %	レポート等の状 出席状況、発言			エ取り組む姿勢、	締め切り	<b>りの厳守を評</b> 価	iする。					
評価基準		未安労 ———— ストその他	40 %	プレゼン 発表で				]度							
			40 <b>%</b> :) はそれぞれ20%以上	各章ごとの確認とし、授業姿勢は3			1、高央								
目標検定・課外授業実施予定・その					-	_			_	_	_				
他															

1

科目	名   インターンシップ	— 毎外 (ⅡB)			学期	後	期			
担当	教員 髙野 直人	科目区分専門	授業方法 実習·実技	分類 必修	単位数		10			
学習	的 外国人旅行者の一人ひとりにあった的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的と									
授業	内容 カナダでのワーキ	ア カナダでのワーキングホリデーと観光を通して課題を進める								
学習目標 富山県とカナダの観光地を体験、考察し新たな観光プランを創出する										
	使用テキストオリジナルテキスト(ワーキングホリデープログラム)									
週数	週数   授業計画									
1	ワーキングホリデー									
2	ワーキングホリデー									
3	ワーキングホリデー									
4	ワーキングホリデー									
5	ワーキングホリデー									
6	ビジネスモデルとは□ろいろな業界のビジネスモデルについて□									
7	観光業の商品(サービス)の構成									
8	売上・経費・利益の仕組み口									
9	利用者の分析は利用者の属性)									
10	観光スポット体験									
11	観光スポット体験									
12	アクティビティ体験									
13	アクティビティ体験									
14	カナダの観光スポットやアクティビティの分析									
15	カナダの観光スポットやアクティビティの分析									
	評価項目/割合	1244 上 2 = 2 = 2 = 1		西内容						
評	1. 課題 70%	授業内の課題の取組								
価 基 準	2. 授業姿勢 30 %	言葉づかい、態度、	<b> </b>							
	3. テストそ(0 % 課題·テスト(その他検定など)はそれ	 れぞれ20%以上とし、授業姿勢	は30%とする。							
目標検 定・課外 授業実 施予定・										

科目名		インターン	ノシップ国	国内(ⅡB)						学期	後	期
担当教員		 高野	直人	科目区分専		授業方法	上、実習・実技	分類	必修	単位数		10
 学習目的				の知識を確認す		Ļ	<u> </u>	<u> </u>	ļ	ļ		
				 内容を体験し、								
				 ·活かし、また机								
使用テ												
週数												
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる(毎週金曜日)											
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
		評価項目/					ā	平価 内容				
評価基準			%	授業内の課題								
		授業姿勢 30 		言葉づかい、	態度、	マナー						
		テストそ(0	% 定など)はそれ	ιぞれ20%以上とし、授	建次執	は30%とせる						
目標検定・課外 授業実		<b>・ハーバ(の)他快</b>	<u>~ごはし/1はて1</u>	⊌ ♥♥₹₹₹₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽	<b>、水安</b> 労	1800 MC A غ						